

Hinemos クラウド仮想化オプション for Microsoft Azure ver5.0 コミュ ニティ版

ユーザマニュアル 第4版

Copyright (c) 2016 NTT DATA CORPORATION

目次

1	ライセンス 4						
2	はじめに	5					
	2.1 内容物	5					
	2.1.1 ドキュメント	5					
	2.1.2 パッケージ	5					
	2.2 特徴	5					
	2.3 機能概要	6					
	2.4 用語	6					
	2.5 Hinemosクラウド仮想化オプションと併用可能なオプションについて	7					
3	セットアップ	8					
	3.1 前提条件	8					
	3.1.1 システム構成	8					
	3.1.2 ネットワーク条件(Microsoft Azure SDK / Microsoft Azure REST API)	8					
	3.1.3 ネットワーク条件(Hinemosリッチクライアント)	8					
	3.1.4 ネットワーク条件(Hinemos Webクライアント)	8					
	3.1.5 ネットワーク条件(Hinemosエージェント)	8					
	3.1.6 ネットワーク条件(Hinemosマネージャ)	9					
	3.2 インストール	9					
	3.2.1 インストールの流れ	9					
	3.2.2 事前準備	9					
	3.2.3 Hinemosマネージャ	9					
	3.2.4 Hinemos Webクライアント	10					
	3.2.5 Hinemosリッチクライアント	11					
	3.3 アンインストール	12					
	3.3.1 アンインストールの流れ	12					
	3.3.2 Hinemosマネージャ	13					
	3.3.3 Hinemos Webクライアント	13					
	3.3.4 Hinemosクライアント	14					
4	Hinemosクラウド仮想化オプションの利用の流れ	15					
	4.1 パブリッククラウドとの連携	15					
	4.2 コンピュートノードの管理	15					
_		17					
5	Hinemosクラウド仮想化オブジョンで利用するシステム権限	19					
6	クラウトサービスとの連携 く 4 株会に切開ま	20					
		20					
	6.2 Microsoftアカワントとリノスクワノションの作成 6.24 サブスクリプションのの作成	20					
		20					
	0.3 回山(円)(3)	21					
	6.3.1 クラウトロンコンコンプリビュー 6.3.1 クラウドフコープを登録する手順	21					
		22					
	0.5.1.2 シンショハコ ノビダビュロナ順 6313 クラウドスコープにクラウドアカウント(サブ)を設定する毛順	25					
	6314 クラウドスコープを削除する手順	25					
	6.3.2 クラウド[ロール割当]ビュー	∠⊃ ⊃∧					

	6.3.2.1 ロールとクラウドアカウントの対応関係を設定する手順	24
	6.4 システム権限	25
7	クラウドサービスが提供する各サービスの管理	26
	7.1 機能概要	26
	7.2 画面構成	26
	7.2.1 クラウド[サービス状態]ビュー	26
	7.3 システム権限	26
8	クラウドアカウント配下のリソースの自動検知	27
	8.1 機能概要	27
	8.2 画面構成	27
	8.2.1 クラウド[構成ツリー]ビュー	28
	8.2.2 クラウド[コンピュート]ビュー	31
	8.2.3 クラウド[ストレージ]ビュー	33
	8.2.4 クラウド[ネットワーク]ビュー	33
	8.3 システム権限	33
9	コンピュート管理	34
	9.1 機能概要	34
	9.2 画面構成	34
	9.2.1 クラウド[コンピュート]ビュー	34
	9.2.1.1 コンピュートノードのメタ情報を設定する手順	35
	9.2.1.2 コンピュートノードに対応するノードのスコープ割当ルールを設定する 手順	35
	9.2.1.3 コンピュートノードをノードとして手動で登録する手順	35
	9.2.2 クラウド[コンピュート世代管理]ビュー	36
	9.3 システム権限	36
10	ストレージ管理	37
	10.1 機能概要	37
	10.2 画面構成	37
	10.2.1 クラウド[ストレージ]ビュー	37
	10.2.2 クラウド[ストレージ世代管理]ビュー	37
	10.3 システム権限	37
11	ネットワーク管理	38
	11.1 機能概要	38
	11.2 画面構成	38
	11.2.1 クラウド[ネットワーク]ビュー	38
	11.3 システム権限	38
	11.4 コンピュートノード検知によるHinemosエージェントの自動接続機能	39
	11.4.1 Hinemosエージェント側の準備	39
12	Hinemosマネージャの設定一覧	40
13	Hinemosエージェントの設定一覧	52
14	変更履歴	53



1 ライセンス

Hinemosクラウド仮想化オプションはGNU General Public Licenseとなります。 各種ドキュメントはGNU General Public Lice nseではありません。各種ドキュメントの無断複製・無断転載・無断再配布を禁止します。



2 はじめに

Hinemosクラウド仮想化オプションとは、 プライベートクラウド・パブリッククラウドを利用して構成されたシステムを、 統合 運用管理ソフトウェアHinemosにより効率良く運用するための機能拡張を提供するオプション製品です。

Hinemosクラウド仮想化オプションver5.0は、以下を満たすHinemos 5.0.xでご利用いただけます。

- · 2015/7/31版Hinemosマネージャ累積パッチが適用されたHinemos 5.0.0
- ・Hinemos 5.0.1以降

なお、文中のHinemosやクラウド仮想化オプションのバージョンにおいて、 「5.0.x」と表記されている箇所の「x」はマイナー バージョン番号となります。

2.1 内容物

2.1.1 ドキュメント

Hinemos_Option_vCloud_5_0_Azure_Community.pdf

Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azure(コミュニティ版)のマニュアル(本ドキュメント)となります。 提 供される機能の説明、インストール手順、利用方法、各種パラメータが記載されています。

2.1.2 パッケージ

Hinemosクラウド仮想化オプションにおけるCommonパッケージは以下の通りです。 クラウドサービスに依存せず、どのクラウ ドサービスを管理する上でも必要となる共通的なパッケージとなります。

hinemos-manager-vcloud-std-core-5.0.x-1.el7.noarch.rpm
 Hinemosマネージャ向けのCommonパッケージ(コミュニティ版)です。
 hinemos-web-vcloud-core-5.0.x-1.el7.noarch.rpm
 Hinemos Webクライアント向けのCommonパッケージです。
 hinemos-client-vcloud-core-5.0.x-1.win-noarch.zip
 Hinemosリッチクライアント向けのCommonパッケージです。

Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージは以下の通りです。

hinemos-manager-vcloud-std-azure-5.0.x-1.el7.noarch.rpm

Hinemosマネージャ向けのMicrosoft Azure対応パッケージ(コミュニティ版)です。

hinemos-web-vcloud-azure-5.0.x-1.el7.noarch.rpm

Hinemos Webクライアント向けのMicrosoft Azure対応パッケージです。

hinemos-client-vcloud-azure-5.0.x-1.win-noarch.zip

Hinemosリッチクライアント向けのMicrosoft Azure対応パッケージです。

2.2 特徴

Hinemosクラウド仮想化オプションの特徴を以下に記載します。

1. プライベートクラウド・パブリッククラウド上のシステムと既存のシステムを一元管理

プライベートクラウドあるいはパブリッククラウド上の仮想マシン、 ベアメタルのマシンが混在した環境をHinemosにより 一元的に管理できます。

2. プラットフォーム特有のメトリック値の収集・監視

ベアメタルのマシンで取得していた従来のメトリック値に加えて、 クラウドサービスあるいは仮想化特有のメトリック値を 収集して閾値監視できます。

また、パブリッククラウド特有の課金情報を管理して、 リソース単位での詳細なコスト把握・分析とともに、特定のリソー ス群に対するコストを閾値監視できます。

3. ワークフローに合わせたシステム構成の最適化

クラウドサービス上に存在する仮想マシンを管理対象として自動的に組み込み、 Hinemosからパワーオン、パワーオフといっ た状態制御を一元的に制御できます。 また、コンピュートリソースやストレージのバックアップを世代管理できるととも に、 状態制御あるいはバックアップをワークフローに組み込み計画的に実行できます。

本ドキュメントでは、 **Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azure(コミュニティ版)** によるHinemosの利用方法を 説明します。

2.3 機能概要

Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azure(コミュニティ版) を導入することにより、 Hinemosの本体機能に加えて、以下の機能拡張が利用可能となります。

A. クラウドサービスとの連携

クラウドアカウント(メイン)の登録

クラウドサービスと連携するための設定として、クラウドサービスから入手できるアカウント情報を クラウドアカウン トとしてHinemosに登録できます。

また、そのアカウントが管理するリソース全体を抽象化した概念として クラウドスコープというスコープが自動的に作成し、 クラウドサービス上のリソース定義がリポジトリ機能に組み込みます。

Hinemosユーザとクラウドアカウントの対応管理

同一のリソース資源に対してアクセス可能なクラウドアカウントを複数登録し、 Hinemosロールとクラウドアカウント を対応づけることで、 一部のHinemosユーザに対してクラウドサービス上のリソース資源に対する操作を制限できます。

C. クラウドアカウント配下のリソースの自動検知

リソースセグメントの可視化

クラウドサービス上のリソース資源は物理的あるいは論理的にセグメント分けされて階層的に管理されます。 セグメント情報を受信し、その階層構造を可視化されます。

リソースセグメントのスコープ自動登録

クラウドサービス上のセグメントをスコープとして可視化し、リポジトリ機能に組み込みます。

コンピュートノード一覧と状態の可視化

クラウドサービス上でリソース資源であるコンピュートノードを受信し、 各セグメントに存在するコンピュートノード の情報・状態を可視化します。

検出したコンピュートノードの自動登録・更新

クラウドサービスから受信したコンピュートノードの情報に基づき、 ノードとしてリポジトリ機能に自動的に組み込み ます。

2.4 用語

本ドキュメントで使用する用語を以下に記載します。

用語	説明
クラウドサービス	ネットワークを通じてサーバやストレージを提供するサービス(パブリッククラウド、プライベー トクラウドなど)
Azure	パブリッククラウドの一つであるMicrosoft Azureの略
Microsoft アカウント	Azure のサブスクリプションを購入・管理するために必要なアカウント。
サブスクリプション	使用料が発生する単位。REST APIの実行やオンプレミス環境からの管理もこの単位で実行する。
ストレージアカウント	Azure上で使用するデータを保持する領域の単位。
リージョン	Azureの各リソースが配置される地域

表2-1 用語一覧

2.5 Hinemosクラウド仮想化オプションと併用可能なオプションについて

以下のオプション製品を同一の環境の導入し、Hinemosクラウド仮想化オプションと併用してご利用いただけます。

エンタープライズオプション

- ・ Hinemosノードマップ
- ・ Hinemosジョブマップ
- Hinemos Utility
- ・ Hinemosレポーティング

ミッションクリティカルオプション

• Hinemos HA

なお、Hineomsクラウド仮想化オプション特有の設定情報は、Hinemos Utilityによりインポート・エクスポートできません。 Hi nemosクラウド仮想化オプション特有のものを含めた設定情報を別サーバに完全に移行する場合、内部データベースのバックアッ プ・リストアをご利用ください。

3 セットアップ

3.1 前提条件

3.1.1 システム構成

Hinemosクラウド仮想化オプション5.0.xを利用するためには、 以下のHinemosパッケージがインストールされた環境が必要となります。

- ・ Hinemosリッチクライアント5.0.x or Hinemos Webクライアント5.0.x
- ・ Hinemosマネージャ5.0.x

なお、Microsoft Azure以外のクラウドサービスに対応したHinemosクラウド仮想化オプションを併用する場合、 すべてのHine mosクラウド仮想化オプションを同一のバージョンに揃える必要があります。 例えば、for Microsoft Azureは5.0.b、for VMw are vSphereは5.0.aという組み合わせの構成では正常に動作することが保障されません。

3.1.2 ネットワーク条件(Microsoft Azure SDK / Microsoft Azure REST API)

Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureを利用する場合、 Microsoft Azureが提供するAPIに対してHinemos マネージャからインターネット経由でHTTP通信を行い、 Hinemosとクラウドサービス間で送受信します。

そのため、Hinemosマネージャはインターネットへ接続可能な環境にインストールする必要があります。

3.1.3 ネットワーク条件(Hinemosリッチクライアント)

HinemosリッチクライアントとHinemosマネージャ間の通信は、デフォルトでHTTPプロトコルで行われます。

クラウドサービスへアクセスするためのアカウント情報なども送受信されるため、 上記の通信がセキュアなネットワークでなく、 非セキュアなインターネットなどを経由するような場合には、 HTTPプロトコルではなく、HTTPSプロトコルによる暗号化通信 を利用することを推奨します。

HTTPSプロトコルを利用するための設定方法は、以下のドキュメントをご参照ください。

• Hinemos ver5.0 管理者ガイド 第1版 - 10.2 HinemosマネージャへのHTTPS接続

HTTPプロトコルによる通信をHTTP Proxyサーバを介して行う必要がある場合、 以下のドキュメントをご参照ください。

• Hinemos ver5.0 管理者ガイド 第1版 - 10.1 HinemosマネージャへのHTTP Proxyを経由した接続

3.1.4 ネットワーク条件(Hinemos Webクライアント)

運用端末上のWebブラウザとHinemos Webクライアント間の通信は、デフォルトでHTTPプロトコルで行われます。

クラウドサービスへアクセスするためのアカウント情報なども送受信されるため、 上記の通信がセキュアなネットワークでなく、 非セキュアなインターネットを経由するような場合には、 HTTPプロトコルではなく、HTTPSプロトコルによる暗号化通信を利 用することを推奨します。

HTTPSプロトコルを利用するための設定方法は、以下のドキュメントをご参照ください。

・ Hinemos ver5.0 管理者ガイド 第1版 - 10.3 Hinemos WebクライアントへのHTTPSによる接続

3.1.5 ネットワーク条件(Hinemosエージェント)

HinemosエージェントとHinemosマネージャ間の通信は以下のドキュメントをご参照ください。

・ Hinemos ver5.0 インストールマニュアル 第1版 - 3.5 ネットワーク条件



なお、アプリケーションレイヤの通信として、 Hinemos本体の通信に加えて以下のHinemosクラウド仮想化オプション固有の通 信が行われます。

表 3-1 マネージャサーバからの接続

接続先ノード	接続先コンポーネント	機能	接続先ポート
管理対象	Hinemosエージェント	エージェント検知	TCP 24005

3.1.6 ネットワーク条件(Hinemosマネージャ)

Hinemosマネージャと管理対象ノード間の通信は以下のドキュメントをご参照ください。

・ Hinemos ver5.0 インストールマニュアル 第1版 - 3.5 ネットワーク条件

3.2 インストール

3.2.1 インストールの流れ

Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureのインストールの流れを以下に記載します。

1. 事前準備

Hinemos本体(Hinemosリッチクライアント or Hinemos Webクライアント、 Hinemosマネージャ、Hinemosエージェント)のインストール

2. Hinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージのインストール

Hinemosマネージャサーバ

Hinemosマネージャ向けHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージのインストール

Hinemos Webクライアントサーバ

Hinemos Webクライアント向けHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージのインストール

Hinemosリッチクライアント端末

Hinemosリッチクライアント向けHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージのインストール

3. Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージのインストール

Hinemosマネージャサーバ

Hinemosマネージャ向けHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージのインストール

Hinemos Webクライアントサーバ

Hinemos Webクライアント向けHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージのインストール Hinemosリッチクライアント端末

Hinemosリッチクライアント向けHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージのインストール

3.2.2 事前準備

```
以下のマニュアルに従って、 Hinemosリッチクライアント or Hinemos Webクライアント、Hinemosマネージャ、Hinemosエー
ジェントをインストールします。
```

・ Hinemos ver5.0 インストールマニュアル 第1版

3.2.3 Hinemosマネージャ

以下の手順でHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージ(コミュニティ版)をインストールします。 hinemos-manage r-vcloud-std-core-5.0.x-1.el7.noarch.rpmを既にインストール済みの場合はスキップして構いません。



- 1. Hinemosマネージャを停止します
- 2. rpmコマンドによりhinemos-manager-vcloud-std-core-5.0.x-1.el7.noarch.rpmをインストールします

(root) # rpm -ivh hinemos-manager-vcloud-std-core-5.0.x-1.el7.noarch.rpm

以下の手順でHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージ(コミュニティ版)をインストールします。

3. rpmコマンドによりhinemos-manager-vcloud-std-azure-5.0.x-1.el7.noarch.rpmをインストールします

(root) # rpm -ivh hinemos-manager-vcloud-std-azure-5.0.x-1.el7.noarch.rpm

4. Hinemosマネージャを起動します

3.2.4 Hinemos Webクライアント

以下の手順でHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージをインストールします。 hinemos-web-vcloud-core-5.0.x-1.el7.noarch.rpmを既にインストール済みの場合はスキップして構いません。

- 1. Hinemos Webクライアントを停止します
- 2. rpmコマンドによりhinemos-web-vcloud-core-5.0.x-1.el7.noarch.rpmをインストールします

(root) # rpm -ivh hinemos-web-vcloud-core-5.0.x-1.el7.noarch.rpm

以下の手順でHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージをインストールします。

3. rpmコマンドによりhinemos-web-vcloud-azure-5.0.x-1.el7.noarch.rpmをインストールします

(root) # rpm -ivh hinemos-web-vcloud-azure-5.0.x-1.el7.noarch.rpm

4. Hinemos Webクライアントを起動します

最後に、Hinemos WebクライアントからHinemosマネージャにログインし、 以下のパースペクティブが選択できることを確認し ます。

- ・ クラウド[サービス]
- ・ クラウド[コンピュート]
- ・ クラウド[ストレージ]
- ・ クラウド[ネットワーク]
- ・ クラウド[課金]



図3-1 Hinemos Webクライアントのパースペクティブ一覧

3.2.5 Hinemosリッチクライアント

以下の手順でHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージをインストールします。 hinemos-client-vcloud-core-5.0. x-1.win-noarch.zipを既にインストール済みの場合はスキップして構いません。

- 1. Hinemosリッチクライアントを停止します
- 2. hinemos-client-vcloud-core-5.0.x-1.win-noarch.zipパッケージを解凍します
- 3. 解凍したフォルダに含まれるInstaller_EN.batをダブルクリックして実行します
- 4. UACが有効な場合、ユーザアカウント制御ダイアログにて「はい」ボタンをクリックする
- 5. Hinemos Cloud and Virtualization Option [Common]ダイアログにて、 インストールされているHinemosリッチクライ アントのバージョンが正しいことを確認して「OK」ボタンを押下する
- 6. Windows Script Hostダイアログにて「Installation completed successfully.」と表示されたことを確認し、「OK」ボタンを押下する

以下の手順でHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージをインストールします。

- 7. hinemos-client-vcloud-azure-5.0.x-1.win-noarch.zipパッケージを解凍します
- 8. 解凍したフォルダに含まれるInstaller_EN.batをダブルクリックして実行します
- 9. [UACが有効な場合] ユーザアカウント制御ダイアログにて「はい」ボタンをクリックする
- 10. Hinemos Cloud and Virtualization Option [Azure]ダイアログにて、 インストールされているHinemosリッチクライアン トのバージョンが正しいことを確認して「OK」ボタンを押下する
- 11. Windows Script Hostダイアログにて「Installation completed successfully.」と表示されたことを確認して「OK」ボタ ンを押下する
- 12. Hinemosクライアントのインストールディレクトリ配下のclient_clean_start.vbsを実行し、 インストール直後の初回起動 を実行します。次回の起動以降は、通常のclient_start.vbsを実行してください。

HinemosリッチクライアントからHinemosマネージャにログインし、以下のパースペクティブが選択可能となることを確認します。

- ・ クラウド[サービス]
- ・ クラウド[コンピュート]
- ・ クラウド[ストレージ]
- ・ クラウド[ネットワーク]
- ・ クラウド[課金]

6	Hinemos クライアント	- 🗆 ×
パースペクティブ(P) ビュー(V) クライアント設定	を(S) マネージャ接続(C) ヘルプ (H)	
□ スタートアップ 🛛		
Hinemosスタート 監視設定パ 登録したノードに対して 登録します。 監視履歴パ 監視結果を確認	vertice vertice </th <th></th>	
	接続先Hinemosマネージャ(1/1):マネージャ1(hinemos)	

図3-2 Hinemosリッチクライアントのパースペクティブ一覧

3.3 アンインストール

3.3.1 アンインストールの流れ

Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureのアンインストールの流れを以下に記載します。

1. Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージのアンインストール

```
Hinemosマネージャサーバ
```

Hinemosマネージャ向けHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージのアンインストール Hinemos Webクライアントサーバ

Hinemos Webクライアント向けHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージのアンインストール Hinemosリッチクライアント端末

Hinemosリッチクライアント向けHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージのアンインストー ル

```
Hinem⊚S
```

Microsoft Azure以外のクラウドサービス向けのHinemosクラウド仮想化オプションを併用していない場合、 Hinemosクラウド 仮想化オプションCommonパッケージも不要なため、アンインストールします。

2. Hinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージのアンインストール

Hinemosマネージャサーバ

Hinemosマネージャ向けHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージのアンインストール

```
Hinemos Webクライアントサーバ
```

Hinemos Webクライアント向けHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージのアンインストール **Hinemosリッチクライアント端末**

Hinemosリッチクライアント向けHinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージのアンインストール

3.3.2 Hinemosマネージャ

以下の手順でHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージ(コミュニティ版)をアンインストールします。

- 1. Hinemosマネージャを停止します
- 2. rpmコマンドによりhinemos-manager-vcloud-std-azure-5.0.x-1.el7.noarchをアンインストールします

(root) # rpm -e hinemos-manager-vcloud-std-azure-5.0.x-1.el7.noarch

Microsoft Azure以外のクラウドサービス向けのHinemosクラウド仮想化オプションを併用していない場合、 以下の手順でHine mosクラウド仮想化オプションCommonパッケージ(コミュニティ版)をアンインストールします。

3. rpmコマンドによりhinemos-manager-vcloud-std-core-5.0.x-1.el7.noarchをアンインストールします

(root) # rpm -e hinemos-manager-vcloud-std-core-5.0.x-1.el7.noarch

4. Hinemosマネージャを起動します

3.3.3 Hinemos Webクライアント

以下の手順でHinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージをアンインストールします。

- 1. Hinemos Webクライアントを停止します
- 2. rpmコマンドによりhinemos-web-vcloud-azure-5.0.x-1.el7.noarchをアンインストールします

(root) # rpm -e hinemos-web-vcloud-azure-5.0.x-1.el7.noarch

Microsoft Azure以外のクラウドサービス向けのHinemosクラウド仮想化オプションを併用していない場合、 引き続き、Hinemosクラウド仮想化オプションCommonパッケージを以下の手順でアンインストールします。

3. rpmコマンドによりhinemos-web-vcloud-core-5.0.x-1.el7.noarchをインストールします

(root) # rpm -e hinemos-web-vcloud-core-5.0.x-1.el7.noarch

4. Hinemos Webクライアントを起動します

Hinemos WebクライアントからHinemosマネージャにログインし、以下のパースペクティブが選択できないことを確認します。

- ・ クラウド[サービス]
- ・ クラウド[コンピュート]
- ・ クラウド[ストレージ]
- ・ クラウド[ネットワーク]
- ・ クラウド[課金]

3.3.4 Hinemosクライアント

Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azureパッケージを以下の手順でアンインストールします。

- 1. Hinemosリッチクライアントを停止します
- 2. Hinemosリッチクライアントのeclipse-rcp\pluginsフォルダから以下のフォルダを削除します。
 - com.clustercontrol.xcloud.azure_5.0.x

Microsoft Azure以外のクラウドサービス向けのHinemosクラウド仮想化オプションを併用していない場合、 以下の手順でHine mosクラウド仮想化オプションCommonパッケージをアンインストールします。

- 3. Hinemosリッチクライアントのeclipse-rcp\pluginsフォルダから以下のフォルダを削除します。
 - com.clustercontrol.xcloud_5.0.x
- 4. Hinemosクライアントのインストールディレクトリ配下のclient_clean_start.vbsを実行し、 アンインストール直後の初回 起動を実行します。次回以降は、通常のclient_start.vbsを実行してください。

HinemosリッチクライアントからHinemosマネージャにログインし、以下のパースペクティブが選択できないことを確認します。

- ・ クラウド[サービス]
- ・ クラウド[コンピュート]
- ・ クラウド[ストレージ]
- ・ クラウド[ネットワーク]
- ・ クラウド[課金]

4 Hinemosクラウド仮想化オプションの利用の流れ

Hinemosクラウド仮想化オプションの基本的な機能を使用した一般的な利用の流れは以下に記載します。

- 1. パブリッククラウドとの連携
- 2. コンピュートノードの管理
- 3. Hinemos本体機能(監視、ジョブなど)への組み込み

4.1 パブリッククラウドとの連携

クラウド[サービス]パースペクティブから、 クラウドサービスヘアクセスするためのクラウドアカウントなどの情報を登録しま す。 クラウドアカウントが管理するリソース全体は「クラウドスコープ」というスコープで管理されます。

```
登録した後しばらくすると、クラウド[サービス状態]ビューからクラウドサービスが提供する各種サービスの状態が確認できます。
```

😽 Hinemos ク	ライアント × 🔼							
← → C 🗈	192.168.3.101							☆ 〓
パースペクティブ(P) ビュー(V) クライアン	사設定(S) マネージ	ャ接続(C) ヘルプ (H))				
🖹 🖪 クラ <u>ウド</u>	[サービス] 🖽 スタート	アップ						
🗖 000ra 2	ラウド[ログインユーザ]	- 登録·変更 (Micro	soft Azure)					× 🐶 🗝 🗖
マネージャ								. ーザ 新規1
	マネ ージャ:	マネージャ1					-	
	クラウドスコープID:							
	クラウドスコープ名:							
	オーナーロール:	全ユーザ用ロール <mark>(AL</mark>	L_USERS)				-	
	記明 :							
	ー Azureアカウント(メ	(ン)						表示件数:0
📃 クラウド[サ	サブスクリブション IC							🔗 🗆 🗖
	管理計的表							
	アカウント IC	:						
	表示名	:						
						ОК	Cancel	
								_
			4		111			
								表示件数:0
			接続先Hinemosマネー	ージャ(1/1) : マネージャ	1(hinemos)			

図4-1 クラウド[サービス]パースペクティブ

4.2 コンピュートノードの管理

クラウド[コンピュート]パースペクティブを開くと、 クラウドサービスのリソースが配置されるセグメントがクラウド[構成ツリー]ビューに階層的に可視化されています。

Microsoft Azureの場合

リージョン、クラウドサービスなどがセグメントに該当します

クラウド[構成ツリー]ビューのリージョンを選択すると、 そのリージョン配下のコンピュートノードの一覧がクラウド[コンピュート]ビューに表示されます。 コンピュートID)、コンピュート名に加えて、コンピュートノードの状態(起動、停止など)、IPア ドレスを確認できます。

Microsoft Azureの場合

仮想マシンなどがコンピュートノードに該当します。基本的に、仮想マシンの名前がコンピュートIDおよびコンピュート 名として表示されます。(仮想マシンのストレージコンテナのメタ情報にコンピュータ名を別名として指定することも可能)

← → C 🗋 localhost:10080			☆ 〓					
パースペクティブ(P) ビュー(V) クライアント設定(S) マネーシ	ジャ接続(C) ヘルブ (H)							
😰 🖻 クラウド[コンピュート] 🖪 クラウド[サービス] 🔳 :	スタートアップ							
📄 クラウド[構成ツリー] 🛛 🛛 🔗 🖓 🖓	📄 クラウド[コンビュート] 🛿	▶ + ■ + 県 + Ⅱ + 0≱ + 4	• * 🥕 🝕 🌤 i 🖪 🗞 🔗 🗆 🗖					
 ▲ マネージャ1 パブリッククラウド(_PUBLIC_CLOUD) Microsoft Azure (MS Azure 1) Microsoft Azure (Microsoft Azure 2) Microsoft Azure (MS Azure 3) J ブラジル南部 J 米国中央部 J アジア J 米国東部	状態 状態 まtopped ト stopped まtopped	コンピュートID コンピュート名 cloud-jp-west-0 vm-jp-west-101 hinemos999_vm vmhinemos hogehinemos_h hoge	IPアドレス ファシリティID _AZURE_azı _AZURE_azı _AZURE_azı					
 ▶ ▲ 田東部 2 ▶ ▲ 日本(東) ▲ 日本(西) ④ 日本(西) ④ クラウドサービス(cloud-jp-west-01) ● クラウドサービス(hinemos999) ▶ ⑦ クラウドサービス(hogehinemos) ④ クラウドサービス(hogehinemos) ④ ソウマネット(172.16.0.0/20) ▲ ⑦ サブネット(172.16.0.0/23) ● インスタンス(vm-jp-west-101) ▲ 米国中北部 ▲ 北国中山ッパ ▲ 東南アジア ▲ 東南アジア ▲ 西日ーロッパ ▲ 米国西部 ⑦ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 	 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ 	理] 🛛	▶ 表示件数:3 《 * 양 □ □					
	状態 状態詳細	スナップショットID スナップショット名	作成日時					
	4	111	▶ 表示件数:0					
接続先Hinemosマネージャ(1/1):マネージャ1(hinemos)								

図4-4 クラウド[コンピュート]パースペクティブ

定期的に、クラウドサービス上のリソース情報はクロールされており、 そのクロールのタイミングでコンピュートノードの情報 は最新化されます。

クロールのタイミングで検出された新たなコンピュートノードは、 Hinemosのノードとして自動的に登録されます。 コンピュー トノードとHinemosのノードの対応関係はファシリティIDおよびファシリティ名から確認できます。

< → C □	localhost:10080					<pre></pre>	~ =
バースペクティブ(P)		(11)				6	~ -
		,ロ) トアップ					
		-7-92	4 / ¥ 🖻 O 1	🔊 🖉 🗆 🗖	■ リポミルリ[ブロパティ](マネージャ	1) 92	
				V (x -	2前	值	
マネージャ	ファシリティID	ファシリティ名	プラットフォーム	IPアドレス	ファシリティID	_AZURE_azure2_hinewin-eu	ur 🔺
マネージャ1	_AZURE_azure2_hinemos-europe_hinemos-europe	hinemos-europe	LINUX	123.123.	ファシリティ名	hinewin-europe	
マネージャ1	_AZURE_azure2_hinemossb70vm01_hinemossb70vm	01 hinemossb70vm01	LINUX	123.123.	說明	Hinemos Auto Registered	
マネージャ1	_AZURE_azure2_hinewin-europe_hinewin-europe	hinewin-europe	WINDOWS	123.123.	管理対象		
マネージャ1	_AZURE_azure2_vm-hinemos003_vm-hinemos003	vm-hinemos003	LINUX	123.123.	自動デバイスサーチ		
マネージャ1	_AZURE_azure2_vm-hinemos02_vm-hinemos02	vm-hinemos02	LINUX	123.123.	』サーバ基本情報		
マネージャ1	_AZURE_azure2_west-europe-a_hinemos2-europe	hinemos2-europe	LINUX	123.123.	↓ ハードウェア		
マネージャ1	_AZURE_azure2_west-europe-a_hinemos3-europe	hinemos3-europe	LINUX	123.123.	ブラットフォーム	Windows(WINDOWS)	
マネージャ1	_AZURE_azure2_west-europe-a_hinemos4-europe	hinemos4-europe	LINUX	123.123.	サブブラットフォーム	Microsoft Azure(AZURE)	
マネージャ1	_AZURE_azure2_west-europe-a_hinemos5-europe	hinemos5-europe	LINUX	123.123.≡	H/Wタイプ		
マネージャ1	_AZURE_azure3_Node	MS Azure 3	AZURE	123.123.	画面アイコンイメージ		_
マネージャ1	_AZURE_azure3_cloud-jp-east-01_vm-jp-east-101	east101	LINUX	123.123.	∡ ネットワーク		
マネージャ1	_AZURE_azure3_cloud-jp-east-01_vm-jp-east-201	east201	WINDOWS	123.123.	IPアドレスのバージョン	4	
マネージャ1	_AZURE_azure3_cloud-jp-east-02_vm-jp-east-301	xxxxx	LINUX	123.123.	IPv4のアドレス	100.75.176.97	
マネージャ1	_AZURE_azure3_cloud-jp-west-01_vm-jp-west-101	vm-jp-west-101	LINUX	123.123.	IPv6のアドレス		
マネージャ1	_AZURE_azure3_hinemos999_vmhinemos	vmhinemos	WINDOWS	100.78.2	ホスト名	hinewin-europe	
•	Ш			•	⊿ OS		
				表示件数:22	ノード名	hinewin-europe	
🗖 リボジトリ[スコ	ーブ] 🕴 🗖 リボジトリ[割当てスコーブ]	+	/ 🗙 📲 🛤 🛷	🔗 隆 🗆 🗖	OS名		
4 m	■ 日本 (東) (AZURE 💽 スコープ : パブリッククラウド>MS A).0/20>		OSリリース		
	Cloud-ip-east-01			ファシリティ名	OSバージョン		
	A cloud-ip-east-02 7#1 _AZURE_SUBNET_az	ure3_vnet-jp-east-01-172.	16.0.0-20-172.16.0	172.16.0.0/23	文字セット		
4	m 172.16.0.0/20 (7#1AZURE_SUBNET_az	ure3_vnet-jp-east-01-172.	16.0.0-20-172.16.2	172.16.2.0/23	∡ Hinemosエージェント		
	→ M 172.16.0.0/23				即時反映用ボート	24005	
	m 172.16.2.0/23				▶ ジョブ		
▶	n 172.16.16.0/20 (⊿ サービス		
>	h 172.17.0.0/20 ()≡				> SNMP		
	172.17.16.0/20 (▶ WBEM		
>	172.17.32.0/20 (▶ IPMI		
) → (1)	日本 (西) (_AZURE_(Þ	▶ WinRM		
4				表示件数:2	→ SSH		v
			.):マネージャ1(hinen	10S)			1 0.000

図4-3 リポジトリパースペクティブ

クラウド[コンピュート]ビューから、各コンピュートノードを制御(起動、停止など)を手動で行えます。

4.3 Hinemos本体機能(監視、ジョブなど)への組み込み

ノードとして登録されたコンピュートノードは、 従来の手動で登録されたノードと同様に、Hinemosの標準機能である監視やジョ ブの対象として組み込めます。

			- 🗆 🗙
← → Mttp://192.168.1.209/	、 P マ 🖒 😽 Hine	mos クライアント ×	
監視種別 X 2定	(S) マネージャ接続(C) ヘルス	ř (H)	
Hinemosエージェント監視 (真偽値)	🖪 監視設定 🖪 クラウド[サー	ビス] 🖪 アカウント 🖪 スタートアップ	
HTTP監視 (数値) プレ	·		🕂 🥢 🗶 🗎 🗹 🗆 🎸 🗣 🗖
HTTP監視 (文字列)	·III · nina[作成 亦更]		新規作成コーナ作成日時 最終変更ユーナ最終変更日
HTTP監視 (シナリオ)	ping[作成・変更]		2012/04/01 0:00:00 hinemos 2012/04/
PING監視 (数値)	マネージャ:	マネージャ1	2012/04/01 0:00:00 hinemos 2012/04/
SNMP監視(数値)	監視項目ID:	PING_AWS_SYDNEY	2012/04/01 0:00:00 hinemos 2012/04/
SNMPF監視 (大子列) SNMPTRAP監視 (トラップ)	説明:	アジアパシフィック(シドニー)のサーバ死活監視	2012/04/01 0:00:00 hinemos 2012/04/
SQL監視(数値)	オーナーロールID:	ALL USERS	2012/04/01 0:00:00 hinemos 2012/04/
SQL監視 (文字列)	77-7:		2012/04/01 0:00:00 hinemos 2012/04/
Windowsサービス監視 (真偽値)			2012/04/01 0:00:00 hinemos 2012/04/
Windowsイベント監視 (文字列)	〒〒11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11-11	5分 - カレンダID・	2012/04/01 0.00.00 Initentios 2012/04/
カスタム監視 (数値)	_ チェック設定	555 1 555 1 5 1	表示件数:8
サービス・ポート監視 (数値)	フェッジ設定		
システムログ監視(文字列)			
ノロゼス監視(数値) IID ID	間隔:	1000 ミリ秒	間隔 監視 収集 オーナーロールID 新
99-人監祝(鉄道) ログファイル、彫得(文字列) 1P.	タイムアウト:	5000 ミリ秒	- 無効 無効 ADMINISTRATORS h
DMX監視(数値) 1P.	5 ⁴ +8		- 無効 無効 ADMINISTRATORS h
クラウド監視 (真偽値) 1P.	13117C	判定	- 無効 無効 ADMINISTRATORS h
クラウド課金監視 (数値) 1P.		応答時間 (ミリ秒) パケット紛失(%)	- 無効 無効 ADMINISTRATORS h
1P.		情報: 1000 未満 1 未満	- 無効 無効 ADMINISTRATORS h
	▼ m 1/6		
		(情報・警告以外)	
	· The second		
	게프지	通知ID タイプ	
	通知10 ·	「「「「」」	
	mano .		
	アプリケーション:	AWS [Sydney]	
	収集		
	- 収集 収集値表示名	応答時間	
	収集値単位:	msec	
		t	
		OK(0)	
[4]			
L	421-62	$\pm \text{Linemes}(1/1) + 7 \pm -2 \pm 1(\text{Linemes})$	农示件数:5

図4-2 クラウド[コンピュート]パースペクティブ

5 Hinemosクラウド仮想化オプションで利用するシステム権限

Hinemosクラウド仮想化オプションが提供する機能では、以下のシステム権限を利用します。

									_ 🗆 🗙
< ⊖ ♥	http://192.168.1.2	209/		×					🟦 🖈 🛱
パースペクティン	ブ(P) ビュー(V) ク	フライアント設定(S) マネー	ジャ接続(C) ヘルプ (H)						
📑 🖪 アカウ	シト 田 スタート	アップ							
	-ル] X		+ /	× 🚸 🗆 🗆	7カウント[ユーザ] 🛙			🕂 🧷 🗶 🍰 🔶 🗖
マネージャ	D-JUID	ロール名	説明	新規作成ユー	マネージャ	ユーザID	ユーザ名	説明	新規作成ユ-
マネージャ1	ADMINISTRAT	O Hinemos管理者用ロール	Hinemos管理者用ロール	hinemos	マネージャ1	hinemos	Hinemos 管理者	Hinemos 管理者	hinemos
マネージャ1	ALL_USERS	全ユーザ用ロール	全ユーザ用ロール	hinemos					
マネージャ1	INTERNAL	Hinemos内部ロール	Hinemos内部ロール	hinemos					
			アカワント[システム権限設定]				×		
			ロール名:全ユーザ用ロール						
			全システム権限一覧		付与シ	ステム権限一覧			
					カレ	ンタ - 作成	A		
				権限的	15> カレ	ンダ - 参照			
					カレ	ンダ - 変更			
				<権関	民解除 クラ	フト・1奴想化 - 作品 カド・(仮想化 参照			
•						ウド・163回1日 - 参加 ウド・16個化 - 空間	E		
				ソート	(機能) クラ	ウド・仮想化 - 実行	Ŧ		表示件数:1
🗖 70004 🖂		2 🍫 😭	2			ブ - 作成			🔗 🗆 🗖
⊿ 📋 ロール				ソート	(権限) ジョ	ブ - 参照			
- マネー	・ジャ (マネージャ1)			97 B	ブ - 変更			_
⊧ 👸 Hir	nemos管理者用口-	-ル (ADMINISTRATORS)			ジョ	ブ - 実行			<u> </u>
▶ 88 全二	ューザ用ロール (AL	L_USERS)			メン	テナンス - 作成	T		
⊧ 👸 Hin	nemos内部ロール((INTERNAL)				/A.1.71			
									=
					19	定 キャ	ンセル(C)		
							_		
			クラウド・1次息化 - 1F成 クラウド・仮想化 - 参照						
			クラウド・10歳化 - 参照 カラウド・仮想化 - 亦重						
			クラウド・仮想化 - 実行						
			ジョブ - 作成						
			ジョブ - 参照						
			ジョブ - 変更						
			ジョブ - 実行						
			メンテナンス - 作成						
			メンテナンス - 参照						
									表示件数:38
			接続先Hinemosマネ	ページャ(1/1):	マネージャ1(hir	emos)			

図4-5 アカウント[システム権限設定]ダイアログ

表4-1 クラウド管理機能の権限一覧

権限名	説明
クラウド・仮想化-参照	Hinemosクラウド仮想化オプションで設定した情報の参照権限
クラウド・仮想化-作成	Hinemosクラウド仮想化オプションの設定を作成する権限
クラウド・仮想化-更新	Hinemosクラウド仮想化オプションで設定した情報の更新権限
クラウド・仮想化-実行	Hinemosクラウド仮想化オプションのアクション実行権限

システム権限と機能の関係は各機能の章で説明します。

なお、クラウド仮想化オプションが提供する全ての機能において、システム権限「リポジトリ-参照」は必須となります。 その ため、各機能で必要となるシステム権限の表ではリポジトリ-参照 権限については省略しています。

6 クラウドサービスとの連携

6.1 機能概要

クラウドサービスへアクセスして送受信するため、アカウント情報(以降「クラウドアカウント」と呼ぶ)を登録します。

Microsoft Azureの場合

サブスクリプションIDおよび管理証明書をクラウドアカウントとして利用します

クラウドアカウント(メイン)

定期的に実行されるクロール時のアクセスで利用されるクラウドアカウントであり、 アカウント配下のすべてのリソースへ アクセス可能である必要があります。

また、クラウドアカウント(メイン)の管理下にあるリソース全体を「クラウドスコープ」と呼びます。

クラウドアカウント(サブ)

クラウドアカウント(メイン)と同一のクラウドスコープへアクセス可能なクラウドアカウントです。 一つのクラウドスコープ に対して、クラウドアカウント(メイン)と複数のクラウドアカウント(サブ)が登録できます。

これにより、例えばコンピュートノードの起動・停止が行えないクラウドアカウントを登録しておき、 そのクラウドアカウ ントとHinemosのロールを対応付けることにより、 そのHinemosのロールに所属するユーザにそのクラウドスコープ内のコ ンピュートノードの起動・停止を実行させない 権限制御が実現されます。

ただし、Microsoft Azureではサブスクリプションの上位・下位関連性がないため、本機能はご利用いただけません。

6.2 Microsoftアカウントとサブスクリプションの作成

Hinemosが提供する機能からMicrosoftアカウントとサブスクリプションは作成できません。

Hinemosクラウド仮想化オプションをご利用いただく前に、 Microsoft Azureポータル等を用いてMicrosoftアカウントとサブス クリプションををあらかじめ作成しておく必要があります。

6.2.1 サブスクリプションへの証明書のアップロード

サブスクリプション内のアイテムにAPIよりリモートアクセスするためには、事前に証明書をアップロードする必要があります。 この証明書を作成するためのスクリプトがクラウド仮想化オプション for Microsoft Azure(コミュニティ版)に同梱されています。

1. makeazurekey.shを実行し、証明書を作成します。

ここではキーをhinemosとして証明書を作成する場合を紹介します。

(root) # /opt/hinemos/sbin/xcloud/azure/makeazurekey.sh hinemos

hinemos.pfx hinemos.cer hinemos.b64 ファイルを作成しました hinemos.cer をAzureポータルにアップロードしてください Base64データをHinemosクライアントのシークレットキーに入力してください 次の行からBase64のデータを表示します。Enterを押してください: (省略) 終了しました HinemosとAzureポータルに設定後、ファイルを削除してください 削除するファイル hinemos.pfx hinemos.cer hinemos.b64

実行後に、コマンドを実行した際のカレントディレクトリに以下の3つのファイルが作成されます。 hinemos.cerがMicrosoft Az ureポータルからアップロードするファイルになります。

hinemos.b64

クラウドスコープ登録時の管理証明書

hinemos.cer
 Microsoft Azureポータルからアップロードする証明書ファイル

- hinemos.pfx
- 2. Microsoft Azureポータルから証明書ファイルをアップロードします。

Microsoft Azureポータルにログインし、左側のメニュー「設定」を選択します。 右側の画面に表示される「管理証明書」をク リックし、証明書をアップロードするサブスクリプションIDを1つ選択します。 そして、画面下の「アップロード」をクリックし ます。(このサブスクリプションIDがクラウドスコープ登録時のサブスクリプションIDとなります)

表示される「証明書のアップロード」画面から、先ほど作成したhinemos.cerを指定して右下のチェックボックスをクリックします。 最後に、管理証明書一覧に「hinemos」が表示されていることを確認します。

6.3 画面構成

本機能はクラウド[サービス]パースペクティブに含まれる以下のビューから利用できます。

- ・ クラウド[ログインユーザ]ビュー
- ・ クラウド[ロール割当]



図6-1 クラウド[サービス]パースペクティブ

6.3.1 クラウド[ログインユーザ]ビュー

クラウド[ログインユーザ]ビューではクラウドスコープの一覧が表示されます。 クラウドスコープの登録・変更・削除が可能で あり、クラウドアカウントをクラウドスコープに登録できます。

Section 6.3.1.1 クラウドスコープを登録する手順

📄 クラウド[ログインユーザ] 🐹 🔳 クラウド [ロール割当]					+ - 🦯	iii * 🔗 🗆 🗖
マネージャ	クラウドブラットフォーム	クラウドスコープ (クラウドスコ	アカウント(アカウント ID)	說明	新規作成ユーザ	新規作成日時	最終変更ユーザ	最終変更日時
マネージャ1	Microsoft Azure	MS Azure 1(azure1)	User 1 (user1)		hinemos	2015/09/30 2:5:	hinemos	2015/09/30 2:52
マネージャ1	Microsoft Azure	Microsoft Azure 2(azure	User 2 (user2)		hinemos	2015/09/30 3:02	hinemos	2015/09/30 3:02
マネージャ1	Microsoft Azure	MS Azure 3(azure3)	User 3 (user3)		hinemos	2015/09/30 3:02	hinemos	2015/09/30 3:02
								+ - // =
	表示任奴:3							

図6-2 クラウド[ログインユーザ]ビュー

表6-1, クラウド[ログインユーザ]ビュー ツールバー

ボタンアイコン	ボタン名	説明
+	登録	クラウドスコープおよびクラウドアカウント(メイン)を登録します
/	変更	クラウドスコープおよびクラウドアカウント(メイン)を変更します
ůô	サブアカウント設定	クラウドアカウント(サブ)を設定します
*	削除	クラウドスコープを削除します
S.	更新	クラウドスコープの一覧を最新化します

6.3.1.1 クラウドスコープを登録する手順

クラウドサービス上のリソースをHinemosで管理するため、 そのリソースにアクセスするためのクラウドアカウントをクラウド スコープとして登録します。

- 1. クラウド[ログインユーザ]ビューにて「登録 > Microsoft Azure」ボタンを押下します
- 2. クラウド[ログインユーザ] 登録・変更ダイアログにて以下の設定値を入力します

12:21	·/ H ///H / I I		
5	やウド[ログインユーザ] -	- 登録·変更 (Microsoft Azure)	x
1.			
	マネージャ: [マネージャ1	
	クラウドスコープID:		
	クラウドスコープ名:		
	オーナーロール:	全ユーザ用ロール(ALL_USERS)	
	:118月: [
8	_ Azureアカウント (メイ	(v) —	
	サブスクリブション ID	:	
-	管理証明書	:	
s			
	アカウント ID	:	
	表示名	:	
			_
		OK Cancel	

図6-3 クラウド[ログインユーザ] - 登録・変更 ダイアログ

クラウドスコープに関する設定値を入力します。

Hinem⊚S

マネージャ

クラウドスコープを登録するHinemosマネージャを選択します。

クラウドスコープID

登録するクラウドスコープのIDを入力します。 クラウドスコープIDは、自動検知で登録されるノードやスコープのファシ リティIDなどに利用されます。

クラウドスコープ名

登録するクラウドスコープの名称を入力します。 クラウドスコープ名は、自動検知で登録されるスコープのファシリティ 名などに利用されます。

- オーナーロール
 - クラウドスコープのオーナーロールを選択します。 自動検知により登録されるクラウドスコープに含まれるノードは、このオーナーロールを継承します。

説明

```
クラウドスコープの説明文を入力します。
```

クラウドアカウント(メイン)に関する設定値を入力します。

```
クラウドアカウント(メイン) - サブスクリプションID
```

証明書をアップロードしたサブスクリプションIDを入力します。

- クラウドアカウント(メイン) 管理証明書 hinemos.b64に出力された管理証明書の内容を入力します。
- クラウドアカウント(メイン) アカウントID 上記のアクセスキーに対応するHinemos内部での管理用のアカウントIDを入力します。 クラウドアカウント(メイン) - 表示名

上記のアクセスキーに対応するHinemos内部での管理用のアカウント表示名を入力します。

3. 「OK」ボタンを押下します

6.3.1.2 クラウドスコープを変更する手順

登録済みのクラウドスコープの設定を変更します。

- 1. クラウド[ログインユーザ]ビューにて変更するクラウドスコープを選択し、「変更」ボタンを押下します
- 2. クラウド[ログインユーザ] 登録・変更ダイアログにて以下の設定値を変更します(各入力内容は登録と同じ)

クラウドスコープに関する設定値を入力します。

- ・ クラウドスコープ名
- ・説明

クラウドアカウント(メイン)に関する設定値を入力します。

- ・サブスクリプションID
- 管理証明書
- ・表示名
- 3. 「OK」ボタンを押下します

6.3.1.3 クラウドスコープにクラウドアカウント(サブ)を設定する手順

Microsoft Azureでは本機能はご利用できません。

6.3.1.4 クラウドスコープを削除する手順

不要となったクラウドスコープを削除します。

クラウド特有のメトリック値を監視する際、クラウドアカウントが利用されますが、 クラウドスコープと同時にクラウドアカウントも削除されます。 そのため、クラウドアカウントの削除の影響を受ける可能性のある クラウドスコープ内の自動検知された ノードやスコープなども同時に削除されるため、ご注意ください。

1. クラウド[ログインユーザ]ビューにて削除するクラウドスコープを選択し、「削除」ボタンを押下します





図6-5 [確認]ポップアップ(クラウド[ログインユーザ] - 削除)

2. [確認]ポップアップにて「OK」ボタンを押下します

6.3.2 クラウド[ロール割当]ビュー

クラウド[ロール割当]ビューでは、ロールとクラウドスコープのクラウドアカウントの対応関係を管理できます。

🗌 クラウド[ログインユーザ] 📘 クラウド[ロール割当] 🔀				🤌 % 🗖
⊿ 🛐 マネージャ1	クラウドブラットフォーム	クラウドスコープ名	割当てアカウント	
👸 Hinemos管理者用ロール (ADMINISTRATORS)	Microsoft Azure	MS Azure 1 (azure1)	User 1 (user1) [メイン]	
😚 全ユーザ用ロール (ALL_USERS)	Microsoft Azure	Microsoft Azure 2 (azure2)	User 2 (user2) [メイン]	
👸 Hinemos内部ロール (INTERNAL)	Microsoft Azure	MS Azure 3 (azure3)	User 3 (user3) [メイン]	
				+ - // == -
				表示件数:3

図6-6 クラウド[ロール割当]ビュー

表6-2, クラウド[ロール割当]ビュー - ツールバー

ボタンアイコン	ボタン名	説明
/	変更	ロールとクラウドアカウントの対応関係を設定します
S.	更新	ロールとクラウドアカウントの一覧表示を最新化します

6.3.2.1 ロールとクラウドアカウントの対応関係を設定する手順

ロールに対して、各クラウドスコープのどのクラウドアカウントを割り当てるかを設定します。

1. クラウド[ロール割当]ビューからロールを選択し、「変更」ボタンを押下します

<u>ተ</u>	フラウド[ロール割当] - 登録・変更)		×
	マネージャ:マネージャ1	ロール :	全ユーザ用ロール
M	クラウドブラットフォーム	クラウドスコープ	割当てアカウント
RS	Microsoft Azure (AZURE)	MS Azure 1 (azure1)	○ 割当てない
N			● User 1 (user1) [メイン]
	Microsoft Azure (AZURE)	Microsoft Azure 2 (azure2)	○ 割当てない
			● User 2 (user2) [メイン]
	Microsoft Azure (AZURE)	MS Azure 3 (azure3)	○ 割当てない
			● User 3 (user3) [メイン]
			· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
			OK Cancel
I,			ОК С

図6-7 クラウド[ロール割当] - 登録・変更 ダイアログ

Copyright (c) 2016 NTT DATA CORPORATION

 クラウド[ロール割当] - 登録・変更ダイアログにて、ロールに割り当てる各クラウドスコープのクラウドアカウントを選択 します

クラウドスコープの登録時に設定したオーナーロールには、 そのクラウドスコープのクラウドアカウント(メイン)が自動的に 割り当てられています。

3. 「OK」ボタンを押下する

6.4 システム権限

「クラウドサービスとの連携」で必要となるシステム権限を以下に記載します。

ビュー/ダイアログ名	アクション名	必須権限
クラウド[ログインユーザ]ビュー	登録	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-作成
クラウド[ログインユーザ]ビュー	変更	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-更新
クラウド[ログインユーザ]ビュー	サブアカウント設定	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-更新
クラウド[ログインユーザ]ビュー	削除	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-更新
クラウド[ログインユーザ]ビュー	更新	クラウド・仮想化-参照
クラウド[ロール割当]ビュー	設定	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-更新
クラウド[ログインユーザ]ビュー	更新	クラウド・仮想化-参照

表6-3, システム権限

Hinem⊚S

7 クラウドサービスが提供する各サービスの管理

7.1 機能概要

クラウドサービスが提供する各種サービスの状態を管理できます。

7.2 画面構成

本機能は以下のビューから利用できます。

・ クラウド[サービス状態]ビュー

7.2.1 クラウド[サービス状態]ビュー

Microsoft Azureでは本機能はご利用できません。

表7-1, クラウド[サービス状態]ビュー ツールバー

ボタンアイコン	ボタン名	説明
€ ²	更新	クラウドサービスのサービス状態を最新化します

7.3 システム権限

「クラウドサービスが提供する各サービスの管理」で必要となるシステム権限を以下に記載します。

表7-3, システム権限

ビュー/ダイアログ名	アクション名	必須権限
クラウド[サービス状態]ビュー	更新	クラウド・仮想化-参照



8 クラウドアカウント配下のリソースの自動検知

8.1 機能概要

定期的にクロールして取得したクラウドスコープ内のリソースとして、 コンピュートノード、ストレージ、ネットワークに関す る情報を管理できます。

クラウドスコープ内のリソースがどのようなセグメントに所属するのかどうか、 各リソースがどのような状態にあるのか、を可 視化するとともに、 検知したリソースをHinemosの管理対象としてスコープ・ノードとして自動的に登録できます。

8.2 画面構成

本機能は以下のビューから利用できます。

- ・ クラウド[コンピュート]パースペクティブ
 - ・ クラウド[構成ツリー]ビュー
 - ・ クラウド[コンピュート]ビュー
- ・ クラウド[ストレージ]パースペクティブ
 - ・ クラウド[構成ツリー]ビュー
 - ・ クラウド[ストレージ]ビュー
- ・ クラウド[ネットワーク]パースペクティブ
 - ・ クラウド[構成ツリー]ビュー
 - ・ クラウド[ネットワーク]ビュー

		and the second s	_					
Hinemos クライアント × ストレージ - Microsoft /	× 🐧 🖬 管理 -	Microsoft Azure >						
← → C 🗋 localhost:10080								☆ E
パースペクティブ(P) ビュー(V) クライアント設定(S) マネージ	ゃ接続(C) へル∶	1 (H)						
🗈 🗈 リボジトリ 📧 クラウド[コンピュート] 🗈 クラウド[サ	ービス] 🖽 スタ	ートアップ						
📄 クラウド[構成ツリー] 🐹 🛛 🤣 🖳 🗖	クラウド[コ]	/Ľュート] 🛛			🕨 🖛 📕 🖛 🎙	k v∥ v % v♦	🗶 🥕 🍕 🍋 🛛	i 🗄 🔍 🤣 🗆 🗆
- 🛐 マネージャ1	状態	大邦造言笔明 :	コンピュート ID	コンビュート名	IPアドレス	ファシリティID フ:	アシリティ名	配置一覧
▲ (1) パブリッククラウド(_PUBLIC_CLOUD)		stopped	cloud-jp-west-0	vm-jp-west-101		_AZURE_azure3 vr	m-jp-west-101	パブリッククラウド>M5
🕨 🌰 Microsoft Azure (MS Azure 1)	► I	running	hinemos999_vm	vmhinemos	100.78.22.84	_AZURE_azure3 vr	mhinemos	パブリッククラウド>MS
Microsoft Azure (Microsoft Azure 2)		stopped	hogehinemos_h	hoge		_AZURE_azure3 https://www.action.com/action/	oge	パブリッククラウド>MS
Microsoft Azure (MS Azure 3)								
🌆 ブラジル南部								
▲ 米国中央部								
▶ 🔏 日本 (東)								
⊿ Љ 日本 (西)								
⊿ 🍘 クラウド サービス (cloud-jp-west-01)								
インスタンス (vm-jp-west-101)								
▶ 🍘 クラウド サービス (hinemos999)	<u>[4]</u>				III			▶ 表示件数:3
▶ 🎁 クラウド サービス (hogehinemos)		どっ−ト冊 仕管理1	52					· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
(172.16.0.0/20)	111111	1式戦闘主統	スナップショットI	D スナップショット名	作成日時	自治日月		
▲ 何 サブネット (172.16.0.0/23)	1/1/24	1/10/00/01/1/00	X))//4/14	0 /////1/10	1P/06 LL INT	0/6 / 3		
1 クスタクス (Vm-jp-west-101)								
- 東南アジア								
▲ 西ヨーロッパ								
⑦ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD)								
								表示件数:0
		按航元Hinemos7	ィチージャ(1/1):	マネージャ1(hinemos)			

図8-1 クラウド[コンピュート]パースペクティブ

Copyright (c) 2016 NTT DATA CORPORATION

Section 8.2.1 クラウド[構成ツリー]ビュー

			1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 - 1990 -					
G Hinemos クライアント × 4 ストレージ - Microsoft A × 4 冒惶	- Microsoft Az	ure ×						
$\epsilon \rightarrow c$ [] localnost:10080								= [52
バースペクティブ(P) ビュー(V) クライアント設定(S) マネージャ接続(C) ヘ	レブ (H)							
図 日 クラウド[ストレージ] 田 リボジトリ 田 クラウド[コンピュート] 田	クラウド [サービ	ス] 田 スタートアップ						
□ クラウド[構成ソリー] ※ 👘 🖓 🕛 🗆	📄 クラウド[ストレージ] 🛿 🔄			1		• × 44, + 44, +	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
▲ 🛐 マネージャ1	状態	ストレージID	ストレ	,ージ名	タイブ	JUKAHNID	コンビュート名	ファシリティID フ
▲ (1) パブリッククラウド(_PUBLIC_CLOUD)								
Microsoft Azure (MS Azure 1)								
Microsoft Azure (Microsoft Azure 2)								
Therosoft Azare (HIS Azare S)								
2000日日 2000日 200000000								
▶ ▲ 米国東部								
▲ 米国東部 2								
▶ 💑 日本 (東)								
4 🜆 日本 (西)								
⊿ 🍘 クラウド サービス (cloud-jp-west-01)								
インスタンス (vm-jp-west-101)								
▶ 🍘 クラウド サービス (hinemos999)	4							表示件数:0
▶ 🍘 クラウド サービス (hogehinemos)	- 	フローニ20世紀傍理1 62						
⊿ 🍘 Virtual Network (172.16.0.0/20)	12000 FL		7 +=18 r=k II	2+=	夕 作出口時		ENRE	
a 🍘 サブネット (172.16.0.0/23)	17.757	17,7278 + 410	ステックショットロ	X7.92249F			670"73	
インスタンス (vm-jp-west-101)								
▲ 米国中北部								
1000000000000000000000000000000000000								
L 米国西部								
n ブライベートクラウド(PRIVATE CLOUD)								
								表示件数:0
	接続先Hin	emosマネージャ(1/1)	: マネージャ1(hir	emos)				
			- *-	• - •				
図8-2	! クラ'	フド[ストし	ノージ]/	バースペ	マティン	7		
	-	and the second	Section and					

Mindeo 927-021 ▲ ALD-2-3-MORONIT X ▲ Mit Monon Autors X ● C ▲ Colonator: 1000 ① -2/35P-7/09 ビュー(v) 259-723-MB2(S) 72-32+MB2(C) へんづ (H) ② ■ 2/35P-7/19 ● 2/35P-723-MB2(S) 72-32+MB2(C) へんづ (H) ③ ● 2/35P-727-73 ● 2/35P-727-73 ● 2/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 2/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727-73 ● 1/35P-727 ● 1/35P-727 ● 1/35P-727 ● 1/35P-				and the state of the		
C © © © © © © © © © © © © © © © © ©	Hinemos 054755 × C X NU-S - Microsoft		- Microsoft Azure			
- スペタ・ブ(タ) ビュー(ソ) タタクアン4度(5) マネージー構築(5) へんび (4) 図 つタクア(ビューン3) 図 クタクア(ストレージ) 図 リポジネト 図 クタクア(コーレビス) 図 スタートアップ マククド(エーン4) ③ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ③ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ④ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ④ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ④ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ④ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ④ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ④ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ④ レビジックシクタクシト(JPUELC_CLOUD) ④ レビジックシア・ジーズ(Soud-jp-west-01) ④ クラクト リービス (Goud-jp-west-01) ④ クラクト リービス (Goud-jp-west-01) ④ クラクト リービス (Goud-jp-west-01) ④ クラクト リービス (Goud-jp-west-01) ④ クラクト リービス (JPUELC_CLOUD) ④ クラクト リービス (JPUELC_CLOUD) ④ リビナネ・(172-16.0.0/20) ④ リビナネ・(172-16.0.0/20) ④ リビナネ・(172-16.0.0/20) ④ リビナネ・(172-16.0.0/20) ④ リビナネ・(172-16.0.0/20) ④ リビナネ・(172-16.0.0/20) ④ リビナネ・(172-16.0.0/20) ④ リビナネ・(172-16.0.0/20) ④ フライベートクラクド(_PRIVATE_CLOUD) ■ 超気地inemos マネージャ(U/1): マネージャ U/(Intermos)	← → C □ localhost:10080					<u>ଅ</u> =
■ 日 999 (F4+P-2) 目 999 (F4+P-2) 目 999 (F4+P-2) 日 299 (F4+P-2) 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	パースペクティブ(P) ビュー(V) クライアント設定(S) マネーシ	『ャ接続 <mark>(C)</mark> へ	レプ (H)			
2001(株式)/1-13 ・ ローク ● クタクド(キット)-013 ● ホーク つ クゴム ● ハーグ ● ● 「クラック かた Azure (MS Azure 1) ● ・ ローク の かた Azure (MS Azure 2) ● ・ ローク の かた Azure (MS Azure 3) <td>🗈 🗈 クラウド[ネットワーク] 🗉 クラウド[ストレージ] 🗉</td> <td>リボジトリ 🖪</td> <td>クラウド[コンピュート] 🖽 クラウド</td> <td>[サービス] 🖽 スタートアップ</td> <td></td> <td></td>	🗈 🗈 クラウド[ネットワーク] 🗉 クラウド[ストレージ] 🗉	リボジトリ 🖪	クラウド[コンピュート] 🖽 クラウド	[サービス] 🖽 スタートアップ		
P マオンド1 P (P = 2 + 2 + 2 + 1) P (Microsoft Aure (Microsoft Aure 2) P (Microsoft Aure (Microsoft Aure 3) P (Microsoft Aure (Microsoft Aure 3) P (Microsoft Aure 4) P (Microso	🔲 クラウド[構成ツリー] 🛛	I = 🖓	📃 クラウド[ネットワーク] 😂			II 🥠 🌸 🖓 🗆 🗖
 ● 10 / 10³ / 20³ 20³ C / Unitaria (NS Azure 1) ● Microsoft Azure (NS Azure 2) ● Microsoft Azure (NS Azure 3) ● 3 / 20³ 20³	⊿ 🛐 マネージャ1		ネットワークID	ネットワーク名	タイプ	
 → Microsoft Azure (M5 Azure 1) → Microsoft Azure (M5 Azure 2) → Microsoft Azure (Microsoft Azure 2) → Microsoft Azure (Microsoft Azure 2) → Microsoft Azure (Microsoft Azure 2) → Jož2/Jn## → WareA# → Wa	▲ (1) パブリッククラウド(_PUBLIC_CLOUD)					
 → Microsoft Azure (Microsoft Azure 2) → Microsoft Azure (Microsoft Azure 2) → Microsoft Azure (Microsoft Azure 2) → ブラジル前部 → ボロ中部 → 第727 → 米国東第 → 新田東第 → 第727 → 米国東第 → 御田東第 → 御田東第 → 御田東第 → 御口クジア ケービス (doudrjp-west-01) → (J クジア ケービス (doudrjp-west-01)) → (J クジア ケービス (hogehinemos) → (J クジア ケ ワービス (hogehinemos) → (J クジア ケービス (hogehinemos) → (J クジア ケ) → (J クジア ケービス (hogehinemos) → (J クジア ケービス (hogehinemos) → (J クジア ケ) → (J クジア ケービス (hogehinemos) → (J クジア ケ) → (J クジア ケービス (hogehinemos) → (J クジア ケ) → (J P (J Δ) (J) (J (J) (J) (J) (J) (J)	🕨 😂 Microsoft Azure (MS Azure 1)					
 ▲ Microsoft Azure (MS Azure 3) ▲ ブラジル報告 ★ 四中級目 ★ 四中級目 ★ 四東部 ★ 昭東部 ★ 昭東部 ★ 昭東部 ▲ 昭東部 ▲ 四東次日 ● 日本 (R) ● (D クラアド サービス (cloud-jp-west-01) ● (D クラアド サービス (hogehinemos) ● (D クライペートクタアド (PRIVATE_CLOUD)) 🖄 Microsoft Azure (Microsoft Azure 2)					
 ▲ ブラジル南部 ▲ 米国東部 ▲ 米国東部 ▲ 米国東部 ▲ 米国東部 ▲ 米国東部 ▲ 省(限) ▲ ○ ブラジド サービス (cloud-jp-west-01) ● (2.252)2 (wn-jp-west-101) <	🛛 👝 Microsoft Azure (MS Azure 3)					
 ▲ 米国中総部 ● 第アジア ▶ 米国東部 2 ▶ 日本(現) ● クラクドサービス (cloud-jp-west-01) ● クラクドサービス (lound-spectrum) ● オンスタンス (vm-jp-west-101) ● 米国中総部 ● 北田中南部 ● 東南市部 ● 東南市部 ● 東南市部 ● 米国西部 ● 米国西部 ● 米国西部 ● 米国西部 ● 大田中市部 ● 米国西部 ● 大田中市部 ● 米国西部 ● 米国西部 ● 大田中市部 ● 米国西部 ● 大田市市部 ● 米国西部 ● 米国西部 ● 大田市市部 ● 米国西部 ● 大田市市部 ● 米国西部 ● 大田市市部 ●	🌆 ブラジル 南部					
 ▲ 株型東部 ▲ 株型東部 ▲ 株型東部 ▲ 世話(四) ④ 日本(四) ④ クラクドサービス (cloud-jp-west-01) ● ハンスシンス (vm-jp-west-101) ● ロックシンド リービス (hopenhoemos) ● リ クランド サービス (hopenhoemos) ● リ ブランド サービス (hopenhoemos) ● リ ブランド (122.16.0.0/23) ● ハンスシンス (vm-jp-west-101) ● 米型甲部部 ● 北回中部部 ● 東京ジア ● 唐田一の): ● 米国甲部 ● 東京ジア ● 西日一つ): ● 米国西部 ● 東京ジア ● 西日一つ): ● 米国西部 ● 米国西部 ● 米国西部 ● 米国西部 ● 東京ジア ● 西日一つ): ● ● 「シンジド(-PRIVATE_CLOUD) 	🝶 米国中央部					
 ▲ 米国東部 ▲ 米国東部2 ▲ 日本(#) ▲ 15*(7) (7) 2795 7 0-127 ((bud-jp-west-01)) ④ 2795 7 0-127 ((bud-jp-west-01)) ④ 2795 7 0-127 ((bagehnemos)) ④ 1000 (1200) ④ 1000 (1200) ④ 1000 (1200) ● 1000 (120	🌆 東アジア					
 ▲ 地理報題 2 ▲ 日本(原) ▲ 10 2927ドサービス (cloud-jp-west-01) ④ 2927ドサービス (loud-jp-west-101) ● 27282/2 (vm-jp-west-101) ● 30 2927ドサービス (hogehinemos) ● 10 2927ドサービス (hogehinemos) ● 11 2728/2 (vm-jp-west-101) ▲ 121-0-0/5 ▲ 北国中部部 ▲ 東南アジア ▲ 東面市部 ● 東南アジア ▲ 東面市部 ● 東南アジア ▲ 東面部 ● 東南アジア ▲ 東面部 ● 10 754/(v-1/292)F(_PRIVATE_CLOUD) 	▶ 🚠 米国東部					
 ▲ 日本(第) ④ クラジド サービス (cloud-jp-west-01) ● インスタンス (vm-jp-west-101) ● クラジド サービス (hogehinemos) ● ゾ サブム (vfrial Network (172.16.0.0/20) ▲ ① サブネット (172.16.0.0/20) ▲ ① サブネット (172.16.0.0/20) ▲ ① サブネット (172.16.0.0/20) ▲ ※国中都部 ▲ ※国中都部 ▲ 東南アシア ▲ 西部 - ロッパ ▲ ※国車市部 ▲ 東南アジア ▲ 西部 - ロッパ ▲ ※国車市部 ▲ 東南アジア ▲ 西部 - ロッパ ▲ ※国車市部 ▲ 東南アジア ▲ 西部 - ロッパ ▲ ※国車市部 ▲ 東京アジア ▲ 西部 - ロッパ ▲ 米国車市部 ▲ 東京 - ロッパ ▲ 米国車市部 ▲ 東京 - ロッパ ▲ 米国車市部 ▲ 東京 - ロッパ ▲ 東京市 - ロッパ ▲ 東京市の ● 「フライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) ● 「カチャン(1/1): マネージャ1(Jhnemos) 	▶ 米国東部 2					
 ▲ 10 2001 ① クラクドサービス (loud-jp-west-101) ① クラクドサービス (lonemos999) ③ クラクドサービス (hogehinemos) ④ クラクドサービス (looghinemos) ④ サブネット (172.16.0.0/20) ● (172.16.0.0/	› 🚠 日本 (東)					
 ③ クランド サービス (blud-jp-west-01) ③ クランド サービス (hiemos999) ⑤ クランド サービス (hogehinemos) ⑥ ソドセは Network (172.16.0.0/20) ④ サブネット (172.16.0.0/23) 圖 インスタンス (vm-jp-west-101) ※ 米国中北部 ③ 北ヨーロッパ ③ 東南アジア ③ 西ヨーロッパ ④ 米国西部 ⑦ ブライベートクラヴンド(_PRIVATE_CLOUD) 	🛛 🚠 日本 (西)					
 - インスタンス (vm.jp-west-101) ・ (i) クラクド サービス (homenos) ・ (i) サブキット (172.16.0.0/23) ・ (i) サブキット (172.16.0.0/23) ・ インスタンス (vm.jp-west-101) ・ 米理中北部 ・ 北ヨーロッパ ・ 水国中市部 ● 東南アジア ▲ 西ヨーロッパ ▲ 米国西部 ● (i) ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 提続先Hinemosマネージャ(1/1): マネージャ1(/inemos) 表示件数 	□ クラウド サービス (cloud-jp-west-01)					
 ● (1) ジラグ・ ジービス (Internessions) ● (1) ジラグ・ (172.16.0.0/20) ● (1) ジラグ・ (172.16.0.0/23) ● (1) ジラグ・ (100.000) ● (1) ジラグ・ (100.000) ● (1) ジラグ・ (100.0000) ● (1) ジラグ・ (100.0000) ● (1) ジラグ・ (1) ジェブ・ (1) ジェブ・(1) ジェブ・(1) ジェブ・(1) (1) ジェブ・(1) (1) ジェブ・(1) (1) ジェブ・(1) (1) (1) ジェブ・(1) (1) (1) ジェブ・(1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)						
 ● 10 シット ケーと人 (note that it is a state of the state of	ト (1) クラクト サービス (ninemos999)					
 ▲ ● Virtual retwork (1/12.16.0.0/20) ▲ ● 0 ジスタンス (vm-jp-west-101) ● 米国中北部 ● 北ヨーロッパ ● 米国市部 ● 東南アジア ▲ 欧国西部 ⑦ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 	Without Network (172,16,0,0(20)					
 ● (1/2.40:3) (1/2.40:3) (1/2.40:3) (1/2.40:3) ● (1/2.52:2,7, (vm-jp-west-101)) ● * 本国中北部 ● 北ヨーロッパ ● 東南アジア ● 西ヨーロッパ ● 米国西部 ● アヨーロッパ ● 米国西部 ● (1/2.40:2,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7,7	2 (172.16.0.0/20)					
 ▲ 米国中北部 ▲ 北日-ロッパ ▲ 米国中南部 ▲ 東南アジア ▲ 西西部 ③ オライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 提続先Hinemosマネージャ1(hinemos) 	$(1)_{2}$					
 ▲ 水田一口ッパ ▲ 米国中南部 ● 東南アジア ▲ 西田一つッパ ▲ 米国西部 ⑦ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 福祉 日本のの (*) ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 表示件数 描述先Hinemosマネージャ1(J): マネージャ1(hinemos) 	▲ 米国中北部					
 ▲ 米国中南部 ▲ 東南アジア ▲ 西ヨーロッパ ▲ 米国西部 ⑦ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 表示件数 						
▲ 東南アジア ▲ 西ヨーロッパ ▲ 米国西部 ⑦ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD)						
▲ 西ヨーロッパ ▲ 米国西部 ⑦ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 指統先Hinemosマネージャ(1/1):マネージャ1(binemos)	▶ 東南アジア					
▲ 米国西部 ③ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD) 掲続先Hinemosマネージャ(1/1):マネージャ1(binemos)	🔏 西ヨーロッパ					
・ ・ ・	▶ 米国西部					
	ー ⑦ ブライベートクラウド(_PRIVATE_CLOUD)					
	_					
表示件数 接続先Hinemosマネージャ(1/1):マネージャ1(binemos)						
接続先Hinemosマネージャ(1/1): マネージャ1(hinemos)						表示件数:0
			接続先Hinemosマネージャ(1	/1) : マネージャ1(hinemos)		

図8-3 クラウド[ネットワーク]パースペクティブ

8.2.1 クラウド[構成ツリー]ビュー

クラウドスコープに含まれるリソースの配置状況をセグメント単位で階層的に可視化します。





図8-4 クラウド[構成ツリー]ビュー

Microsoft Azureの場合、以下の階層構成でリソースが管理されます。

[第1階層] パブリッククラウド

パブリッククラウド上のリソースを包含するセグメントを示します。 Hinemosクラウド仮想化オプションをインストールすると、 このセグメントに対応する以下のスコープが自動的に生成されます。

ファシリティID _PUBLIC_CLOUD ファシリティ名 パブリッククラウド オーナーロールID ADMINISTRATORS

[第2階層] パブリッククラウド/クラウドスコープ

クラウドスコープ内のリソースを包含するセグメントを示します。 Microsoft Azureはパブリッククラウドの一つとなるため、 パブリッククラウド内に配置されます。 クラウドスコープを登録すると、このセグメントに対応する以下のスコープが自動的に 生成されます。

ファシリティID _AZURE_[クラウドスコープID] **ファシリティ名** [クラウドスコープ名] **オーナーロールID** [クラウドスコープのオーナーロールID]

このスコープ直下にはクラウドスコープのクラウドサービスを抽象化したものとして、以下のノードが自動的に生成されます。 M icrosoft Azureではこの自動的に生成されるノードを使用することはありません。



```
ファシリティID
 _AZURE_[クラウドスコープID]_Node
ファシリティ名
 [クラウドスコープ名]
管理対象
 on
自動デバイスサーチ
 off
プラットフォーム
 AZURE
サブプラットフォーム
 AZURE
IPアドレスのバージョン
 4
IPv4アドレス
 123.123.123.123
ホスト名
 [クラウドスコープ名]
ノード名
 [クラウドスコープ名]
クラウドサービス
 AZURE
クラウドスコープ
 [クラウドスコープID]
クラウドリソースタイプ
 CloudScope
クラウドリソースID
 [クラウドスコープID]
クラウドリソース名
 [クラウドスコープ名]
オーナーロールID
 [クラウドスコープのオーナーロールID]
```

[第3階層] パブリッククラウド/クラウドスコープ/リージョン

リージョン内のリソースを包含するセグメントを示します。 クラウドスコープを登録すると、このセグメントに対応する以下の スコープが自動的に生成されます。

ファシリティID

_AZURE_REGION_[クラウドスコープID]_[リージョンID (ex. Japan-East)]

ファシリティ名

[リージョン名 (ex. 日本(東))]

```
オーナーロールID
```

[クラウドスコープのオーナーロールID]

[第3階層] パブリッククラウド/クラウドスコープ/全ノード

全リージョンのリソースを包含するセグメントを示します。 このセグメントには、その時点で存在が確認されたリソースだけで なく、かつて存在していたリソースも含まれる点が特徴です。 クラウドスコープを登録すると、このセグメントに対応する以下 のスコープが自動的に生成されます。

```
ファシリティID
_AZURE_ALL_[クラウドスコープID]
ファシリティ名
全ノード
オーナーロールID
```

[クラウドスコープのオーナーロールID]



[第4階層] パブリッククラウド/クラウドスコープ/リージョン/クラウドサービス

クラウドサービス内のリソースを包含するセグメントを示します。 定期的に実行されるクロールのタイミングで、このセグメントに対応する以下のスコープが自動的に作成されます。

ファシリティID

_AZURE_AZ_[クラウドスコープID]_[クラウドサービス名]

ファシリティ名

[クラウドサービス名]

オーナーロールID

[クラウドスコープのオーナーロールID]

[第4階層] パブリッククラウド/クラウドスコープ/仮想ネットワーク

仮想ネットワーク内のリソースを包含するセグメントを示します。 定期的に実行されるクロールのタイミングで、このセグメントに対応する以下のスコープが自動的に作成されます。

ファシリティID

_AZURE_VNET_[クラウドスコープID]_[仮想ネットワーク名]_[アドレス空間]

ファシリティ名

[アドレス空間]

オーナーロールID

[クラウドスコープのオーナーロールID]

[第5階層] パブリッククラウド/クラウドスコープ/仮想ネットワーク/サブネット

仮想ネットワーク内をサブネットで分割したリソースを包含するセグメントを示します。 定期的に実行されるクロールのタイミ ングで、このセグメントに対応する以下のスコープが自動的に作成されます。

ファシリティID

_AZURE_SUBNET_[クラウドスコープID]_[仮想ネットワーク名]_[アドレス空間]_[サブネットCIDR]

ファシリティ名

[サブネットCIDR]

オーナーロールID

[クラウドスコープのオーナーロールID]

表8-1, クラウド[構成ツリー]ビュー - ツールバー

ボタンアイコン	ボタン名	説明
~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	更新	セグメントの階層構造を最新化します

## 8.2.2 クラウド[コンピュート]ビュー

クラウド[構成ツリー]ビューで選択したセグメント配下に存在するコンピュートノードの一覧が表示され、 コンピュートノード の状態を可視化します。

#### Section 8.2.2 クラウド[コンピュート]ビュー



📃 クラウド[	コンピュート] 🛚 🗌			🕨 🕶 📕 🔻 🛼	<b>▼  </b> ▼@ ₁ ▼ (	🕨 🗶 🤻 🖌 i	E 🔍 🗞 🗆 🗖
状態	状態詳細	コンビュートID	コンビュート名	IPアドレス	ファシリティID	ファシリティ名	配置一覧
	stopped	cloud-jp-west-0	vm-jp-west-101		_AZURE_azure3	vm-jp-west-101	バブリッククラウド>MS
	running	hinemos999_vm	vmhinemos	100.78.22.84	_AZURE_azure3	vmhinemos	パブリッククラウド>MS
	stopped	hogehinemos_h	hoge		_AZURE_azure3	hoge	パブリッククラウド>MS
•				111			•
表示の					表示件数:3		

#### 図8-5 クラウド[コンピュート]ビュー

定期的なクロールで自動検知されたコンピュートノードが表示されており、検知されると同時に以下のノードとして自動的に登録 されます。 クラウド[コンピュート]ビューに表示されるファシリティIDおよびファシリティ名は、登録されたノードのファシリ ティIDおよびファシリティ名となります。

#### コンピュートノード(仮想マシン)

ノードの設定値として以下がセットされます。

ファシリティID

__AZURE_[クラウドスコープID]_[リージョンID]_[仮想マシン名]

ファシリティ名

[仮想マシン名](仮想マシンが格納されるストレージのコンテナvhdsのメタ情報により別名も指定可能)

#### 管理対象

起動している場合はon, 停止している場合はoff

- 自動デバイスサーチ
- on

#### オーナーロールID

[クラウドスコープのオーナーロールID]

ノードのサーバ基本情報として以下がセットされます。

サーバ基本情報 - ハードウェア - プラットフォーム

LINUX or WINDOWS

```
サーバ基本情報 - ハードウェア - サブプラットフォーム
```

AZURE

サーバ基本情報 - ネットワーク - IPアドレスのバージョン

```
4
```

サーバ基本情報 - ネットワーク - IPv4のアドレス

[仮想マシンが保持するIPアドレス] [10.0.0.0/8, 172.16.0.0/12, 192.168.0.0/16]の順序で IPアドレスがCIDRに含まれるかどうかを評価し、最も先頭でマッ

チしたIPアドレスが選定される。

#### サーバ基本情報 - ネットワーク - ホスト名

[仮想マシン名]

サーバ基本情報 - OS - ノード名

```
[仮想マシン名]
```

ノードのクラウド・仮想化管理として以下がセットされます。

クラウド・仮想化管理 - クラウドサービス AZURE
クラウド・仮想化管理 - クラウドスコープ [クラウドスコープID]
クラウド・仮想化管理 - クラウドリソースタイプ AZURE
クラウド・仮想化管理 - クラウドリソースID [リージョンID]_[仮想マシン名]
クラウド・仮想化管理 - クラウドリソース名 [仮想マシン名]
クラウド・仮想化管理 - クラウドロケーション [リージョンID]

仮想マシンのディスクが格納されるストレージには、コンテナ情報としてメタ情報が定義可能です。 vhdsコンテナへのメタ情報 を用いて、ノードの登録時のファシリティ名やノードの登録と同時に割り当てるスコープを指定できます。

## **キー** [リージョンID]_[仮想マシン名]

値

[リージョンID]_[仮想マシン名]:scope=[割り当てるスコープのファシリティID] name=[ノードのファシリティ名] あるいは [ リージョンID]_[仮想マシン名]:scope=[割り当てるスコープのファシリティID#1],=[割り当てるスコープのファシリティID#2] name=[ノードのファシリティ名]

表8-2, クラウド[コンピュート]ビュー - ツールバー

ボタンアイコン	ボタン名	説明
E	スコープ割当ルール	検出したコンピュートノードのスコープ割当ルールを設定します
Se .	更新	コンピュートノードの一覧を最新化します。

## 8.2.3 クラウド[ストレージ]ビュー

Microsoft Azureでは、本機能は利用できません。

## 8.2.4 クラウド[ネットワーク]ビュー

Microsoft Azureでは、本機能は利用できません。

## 8.3 システム権限

「クラウドアカウント配下のリソースの自動検知」で必要となるシステム権限は以下の通りです。

#### 表8-5, システム権限

ビュー/ダイアログ名	アクション名	必須権限
クラウド[構成ツリー]ビュー	更新	クラウド・仮想化-参照
クラウド[コンピュート]ビュー	更新	クラウド・仮想化-参照
クラウド[コンピュート]ビュー	スコープ割当ルール	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-更新
クラウド[ストレージ]ビュー	更新	クラウド・仮想化-参照
クラウド[ネットワーク]ビュー	更新	クラウド・仮想化-参照

# 9 コンピュート管理

## 9.1 機能概要

コンピュートノードの生成・削除、制御(パワーオン、パワーオフなど)、 メタ情報の変更およびバックアップ世代管理が行え ます。

## 9.2 画面構成

クラウド[コンピュート]パースペクティブに含まれる以下のビューから本機能を利用できます。

- ・ クラウド[コンピュート]ビュー
- ・ クラウド[コンピュート世代管理]ビュー

## 9.2.1 クラウド[コンピュート]ビュー

## コンピュートノードの生成・削除、制御(パワーオン、パワーオフなど)、メタ情報の変更が行えます。

][	📄 クラウド[コ	עציידאן 🛚			🕨 🖛 📕 🖛 🛼	<b>▼  </b> ▼@ ₁ ▼	F 🛪 🥖 🍕 🌤 👔	E 🔍 🗞 🗆 🗆
	状態	状態詳細	コンピュートID	コンビュート名	IPアドレス	ファシリティID	ファシリティ名	配置一覧
		stopped	cloud-jp-west-0	vm-jp-west-101		_AZURE_azure3	vm-jp-west-101	バブリッククラウド <mark>&gt;M</mark> S
	•	running	hinemos999_vm	vmhinemos	100.78.22.84	_AZURE_azure3	vmhinemos	パブリッククラウド>MS
		stopped	hogehinemos_h	hoge		_AZURE_azure3	hoge	パブリッククラウド>MS
					111			表元件数:3
L								C. XRTINDA

#### 図9-1 クラウド[コンピュート]ビュー

## 表9-1, クラウド[コンピュート]ビュー - ツールバー

ボタンアイコン	ボタン名	説明
•	パワーオン	停止しているコンピュートノードを起動します
•	パワーオフ	起動しているコンピュートノードを停止します
- 🖡	再起動	起動しているコンピュートノードを再起動します
• 88	サスペンド	起動しているコンピュートノードを一時停止します
<b>A</b>	スナップショット	停止しているコンピュートノードのイメージをバックアップします
+	作成	新しいコンピュートノードを作成します
*	削除	コンピュートノードを削除します
/	構成変更	コンピュートノードの構成を変更します
4	クローン	コンピュートノードを複製します
\$ <del>0</del>	マイグレーション	コンピュートノードを移動します
i	詳細表示	コンピュートノードのメタ情報を変更します



▶ マニュアル登録 未登録のコンピュートノードをノードとして登録します
-------------------------------------

#### 9.2.1.1 コンピュートノードのメタ情報を設定する手順

1. クラウド[コンピュート]ビューから停止中のコンピュートノードを選択し、「詳細表示」ボタンを押下します

	stopped	AWS aws2 i-6	8bf80b4 db01	i-68bf80
יסהנסטפ	ユート] - 詳細る	銢 (Amazon Web Se	ervices)	×
回性				
周に	之前	庙		
クラウド	Name	W	eb01	
			追加	削除
(モ:				
			ОК	Cancel

図9-11 クラウド[コンピュート] - 詳細表示ダイアログ

2. クラウド[コンピュート] - 詳細表示ダイアログにて「追加」ボタンを押下し、Key-Value形式の属性を追加します

### タイプ

クラウドはクラウドサービス側に属性を格納し、ローカルはHinemos内に属性を格納します。

#### Microsoft Azureの場合

タイプがクラウドのKey-Valueは利用できません。

## 名前

Key-Value属性のKeyを入力してください

#### 値

Key-Value属性のValueを入力してください

- クラウド[コンピュート] 詳細表示ダイアログにて削除したい属性を選択して「削除」ボタンを押下し、不要な属性を削除 します
- 4. クラウド[コンピュート] 詳細表示ダイアログにてメモを入力し、「OK」ボタンを押下します

### Microsoft Azureの場合

メモは利用できません。

#### 9.2.1.2 コンピュートノードに対応するノードのスコープ割当ルールを設定する手順

### Microsoft Azureの場合

「スコープ割当ルール」は利用できません。

#### 9.2.1.3 コンピュートノードをノードとして手動で登録する手順

1. クラウド[コンピュート]ビューにてコンピュートノードを選択し、「マニュアル登録」ボタンを押下します

ファシリティIDおよびファシリティ名が未定義なコンピュートノードを手動で登録できます。 自動検知を無効化して手動で 必要なノードのみを登録する場合にこのボタンを利用します。

#### Section 9.2.2 クラウド[コンピュート世代管理]ビュー



図9-13 確認ポップアップ(クラウド[コンピュート] - マニュアル登録)

2. [確認]ポップアップにて「OK」ボタンを押下します。

## 9.2.2 クラウド[コンピュート世代管理]ビュー

Microsoft Azureでは、本機能は利用できません。

## 9.3 システム権限

「コンピュート管理」で必要となるシステム権限は以下の通りです。

ビュー/ダイアログ名	アクション名	必須権限
クラウド[コンピュート]ビュー	パワーオン	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	パワーオフ	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	再起動	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	サスペンド	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	スナップショット	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	作成	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	削除	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	構成変更	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	クローン	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	マイグレーション	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	詳細表示	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[コンピュート]ビュー	マニュアル登録	クラウド・仮想化-参照

#### 表9-3, システム権限

Hinem⊚S

# 10 ストレージ管理

## 10.1 機能概要

ストレージの作成・削除、接続(アタッチ、デタッチ)およびバックアップ世代管理が行えます。

## 10.2 画面構成

クラウド[ストレージ]パースペクティブに含まれる以下のビューから本機能を利用できます。

- ・ クラウド[ストレージ]ビュー
- ・ クラウド[ストレージ世代管理]ビュー

## 10.2.1 クラウド[ストレージ]ビュー

Microsoft Azureでは、本機能は利用できません。

## 10.2.2 クラウド[ストレージ世代管理]ビュー

Microsoft Azureでは、本機能は利用できません。

## 10.3 システム権限

「ストレージ管理」で必要となるシステム権限は以下の通りです。

### 表10-3, システム権限

ビュー/ダイアログ名	アクション名	必須権限
クラウド[ストレージ]ビュー	作成	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ]ビュー	削除	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ]ビュー	アタッチ	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ]ビュー	デタッチ	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ]ビュー	マイグレーション	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ世代管理]ビュー	クローン	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ世代管理]ビュー	削除	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ世代管理]ビュー	更新	クラウド・仮想化-参照

## 11 ネットワーク管理

## 11.1 機能概要

ネットワークの設定、接続(アタッチ、デタッチ)を管理できます。

## 11.2 画面構成

本機能はクラウド[ネットワーク]パースペクティブに含まれる以下のビューから利用できます。

・ クラウド[ネットワーク]ビュー

## 11.2.1 クラウド[ネットワーク]ビュー

Microsoft Azureでは、本機能は利用できません。

## 11.3 システム権限

「ネットワーク管理」で必要となるシステム権限は以下の通りです。

## 表11-2, システム権限

ビュー/ダイアログ名	アクション名	必須権限
クラウド[ストレージ]ビュー	設定	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ]ビュー	アタッチ	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行
クラウド[ストレージ]ビュー	デタッチ	クラウド・仮想化-参照, クラウド・仮想化-実行

## 11.4 コンピュートノード検知によるHinemosエージェントの自動接続機能

Hienmosエージェントの設定ファイルには、接続先となるHinemosマネージャのIPアドレスなどの情報が含まれます。

このため、Hinemosエージェントが既にインストールされたコンピュートイメージをテンプレート化し、 新たなコンピュートノー ドを作成しても接続先となるHinemosマネージャのIPアドレスが定義されていないため、 自動的には接続できません。

そのような場合にも、Hinemosクラウド仮想化オプションを利用することで、 HinemosエージェントがHinemosマネージャの存 在を自動的に検知し、 HinemosマネージャのIPアドレスなどを自動的に設定ファイルに定義することが可能です。

## 11.4.1 Hinemosエージェント側の準備

本機能を利用するため、以下の設定ファイルに定義します。

#### /opt/hinemos_agent/conf/Agent.properties

managerAddress=http://\${ManagerIP}:8080/HinemosWS/

なお、**\${ManagerIP}** は完全一致する文字列とする必要があり、 大文字・小文字を変えたり、スペースを含めたりといった 上記以外の記述は許容されません。

この設定を定義されたHinemosエージェントの動作は以下となります。

1. Hinemosマネージャからの通信待機

起動シーケンスの途中でHinemosマネージャからの通信(tcp:24005)を待機します。

2. Hinemosマネージャによるコンピュートノードの自動検知

Hinemosマネージャは自動検知によりこのコンピュートノードを検知すると、 コンピュートノードのtcp:24005に対してHin emosマネージャの接続先情報および コンピュートノードのファシリティIDを送信します。

#### 3. Hinemosエージェントの接続先の自動設定

Hinemosマネージャからの情報を受信したHinemosエージェントは、 受信した情報に基づき、自身の設定ファイルを更新し たうえで、 Hinemosマネージャへ接続します。

本機能の動作には、Hinemosマネージャとエージェントが動作するインスタンス間で、以下の通信ができる必要があります。

・ source : Hinemosマネージャ - destination : Hinemosエージェント (tcp:24005)



# 12 Hinemosマネージャの設定一覧

Hinemosクラウド仮想化オプション for Microsoft Azure(コミュニティ版)の動作に関連するパラメーター覧となります。 これ らのパラメータはメンテナンス[Hinemosプロパティ]ビューから設定できます。

#### パラメータ[common.agent.discovery.pingport]

プロパティ	common.agent.discovery.pingport
プロパティ名	Hinemosエージェント自動接続の送信先ポート番号
説明	自動検知によるHinemosエージェント接続機能を用いた場合、 Hinemosマネージャはこのポート番号に送信 する。
データ型	数值
デフォルト値	24005

#### パラメータ[agent.connection.ipaddres]

プロパティ	agent.connection.ipaddres
プロパティ名	Hinemosエージェント自動接続における接続先アドレス
説明	自動検知によるHinemosエージェント自動接続を有効にしている場合、 Hinemosエージェントは本パラメー タで指定されたアドレスへ接続を試みる。
データ型	文字列
デフォルト値	空文字列

#### パラメータ[hinemos.cloud.autoupdate.inerval]

プロパティ	hinemos.cloud.autoupdate.interval
プロパティ名	リソース自動検知の実行間隔
説明	Hinemosマネージャによるクロール処理である リソース自動検知が動作する間隔(秒, 分, 時, 日, 月, 曜日) を指定します。 (設定値を変更して反映する場合、再起動が必要)
データ型	文字列
デフォルト値	0 */10 * * * ? (10分間隔)

#### パラメータ[hinemos.cloud.platform.service.monitor.interval]

プロパティ	hinemos.cloud.platform.service.monitor.interval
プロパティ名	クラウドの各種サービス状態のチェック間隔
説明	Hinemosマネージャによるクロール処理である クラウドの各種サービス状態のチェック間隔が動作する間隔 (秒, 分, 時, 日, 月, 曜日)を指定します。(設定値を変更して反映する場合、再起動が必要)
データ型	文字列
デフォルト値	0 */10 * * * ? (10分間隔)

#### パラメータ[hinemos.cloud.ipaddress.cidr]

プロパティ	hinemos.cloud.ipaddress.cidr
プロパティ名	自動検知によるノード登録時のIPアドレス選定基準
説明	Hinemosマネージャが検知したコンピュートノードをノードとして登録する際、 IPアドレスを選定する優先 順位を入力します。 IPアドレスが所属するサブネットをCIDR形式で半角カンマ区切りで複数定義し、 先頭 のサブネットから優先してIPアドレスを選定します。
データ型	文字列
デフォルト値	10.0.0/8, 172.16.0.0/12, 192.168.0.0/16

## パラメータ[hinemos.cloud.autoupdate.node]

### Section 12 Hinemosマネージャの設定一覧

プロパティ	hinemos.cloud.autoupdate.node
プロパティ名	コンピュートノードの制御検知の有無
説明	onとした場合、 クラウドサービス上の状態変化(作成・削除など)したコンピュートノードの情報が クラウド [コンピュート]ビューに反映されます。
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.autoregist.node.instance]

プロパティ	hinemos.cloud.autoregist.node.instance
プロパティ名	コンピュートノード(EC2インスタンス)作成検知後のノード登録の有無
説明	onとした場合、 クラウドサービス上のコンピュートノードの作成検知とともに、 リポジトリのノードとして 登録されます。 (設定値を変更して反映する場合、再起動が必要)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.autodelete.node.instance]

プロパティ	hinemos.cloud.autodelete.node.instance
プロパティ名	コンピュートノード(EC2インスタンス)削除検知後のノード削除の有無
説明	onとした場合、 クラウドサービス上のコンピュートノード(EC2インスタンス)の削除検知とともに、 リポジ トリのノードが削除されます。 (設定値を変更して反映する場合、再起動が必要)
データ型	文字列
デフォルト値	off

### パラメータ[hinemos.cloud.autoregist.node.entity]

プロパティ	hinemos.cloud.autoregist.node.entity
プロパティ名	コンピュートノード(RDS, ELB)作成検知後のノード登録の有無
説明	onとした場合、 クラウドサービス上のコンピュートノード(RDS, ELB)の作成検知とともに、 リポジトリの ノードとして登録されます。 (設定値を変更して反映する場合、再起動が必要)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.autodelete.node.entity]

プロパティ	hinemos.cloud.autodelete.node.entity
プロパティ名	コンピュートノード(RDS, ELB)削除検知後のノード削除の有無
説明	onとした場合、 クラウドサービス上のコンピュートノード(RDS, ELB)の削除検知とともに、 リポジトリの ノードが削除されます。 (設定値を変更して反映する場合、再起動が必要)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[agent.connection.interval]

プロパティ	agent.connection.interval
プロパティ名	Hinemosエージェント自動接続に関する通信の試行間隔 [msec]
説明	自動検知によるHinemosエージェント自動接続において、 HinemosマネージャからHinemosエージェントに 対する通信の試行間隔[msec]
データ型	文字列



デフォルト値	10000
ノンオルド恒	10000

パラメータ[agent.connection.count]

プロパティ	agent.connection.interval
プロパティ名	Hinemosエージェント自動接続に関する通信の試行回数
説明	自動検知によるHinemosエージェント自動接続において、 HinemosマネージャからHinemosエージェントに 対する通信の試行回数
データ型	文字列
デフォルト値	30

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.agent.awakeport]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.agent.awakeport
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、Hinemosエージェント(即時反映用ポート)に このパラメータで指定され た値を格納します。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	24005

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.job.priority]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.job.priority
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、ジョブ(ジョブ優先度)に このパラメータで指定された値を格納します。 ( ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	16

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.job.multiplicity]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.job.multiplicity
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、ジョブ(ジョブ多重度)に このパラメータで指定された値を格納します。 ( ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	0

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.snmp.user]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.snmp.user
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SNMP(ユーザ名)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5. 0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	root

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.snmp.port]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.snmp.port
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値

説明	自動検知でノードに反映する場合、SNMP(ポート番号)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ve r5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	161

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.snmp.community]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.snmp.community
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SNMP(コミュニティ名)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	public

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.snmp.version]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.snmp.version
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SNMP(バージョン)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ve r5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	2c

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.snmp.securitylevel]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.snmp.securitylevel
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SNMP(セキュリティレベル)に このパラメータで指定された値を格納しま す。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	noauth_nopriv

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.snmp.timeout]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.snmp.timeout
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SNMP(タイムアウト)に このパラメータで指定された値を格納します。 ( ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	5000

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.snmp.retries]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.snmp.retries
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SNMP(試行回数)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5. 0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	3

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.wbem.user]

#### Section 12 Hinemosマネージャの設定一覧



プロパティ	hinemos.cloud.node.property.wbem.user
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WBEM(ユーザ名)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver 5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	root

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.wbem.userpassword]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.wbem.userpassword
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WBEM(ユーザパスワード)に このパラメータで指定された値を格納しま す。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.wbem.port]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.wbem.port
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WBEM(ポート番号)に このパラメータで指定された値を格納します。 (v er5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	5988

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.wbem.protocol]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.wbem.protocol
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WBEM(プロトコル)に このパラメータで指定された値を格納します。 (v er5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	http

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.wbem.timeout]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.wbem.timeout
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WBEM(タイムアウト)に このパラメータで指定された値を格納します。 ( ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	5000

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.wbem.retries]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.wbem.retries
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WBEM(試行回数)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver 5.0.c以降で有効)
データ型	文字列

デフォルト値	3
	5

パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ipmi.ipaddress]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ipmi.ipaddress
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、IPMI(アドレス)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5. 0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ipmi.port]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ipmi.port
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、IPMI(ポート番号)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver 5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	0

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ipmi.user]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ipmi.user
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、IPMI(ユーザ)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c 以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ipmi.userpassword]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ipmi.userpassword
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、IPMI(ユーザパスワード)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ipmi.timeout]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ipmi.timeout
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、IPMI(タイムアウト)に このパラメータで指定された値を格納します。 (v er5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	5000

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ipmi.retries]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ipmi.retries
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値



説明	自動検知でノードに反映する場合、IPMI(試行回数)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5. 0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	3

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ipmi.protocol]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ipmi.protocol
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、IPMI(プロトコル)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver 5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	RMCP+

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ipmi.level]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ipmi.level
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、IPMI(特権レベル)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver 5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.winrm.user]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.winrm.user
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WinRM(ユーザ名)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver 5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.winrm.userpassword]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.winrm.userpassword
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WinRM(ユーザパスワード)に このパラメータで指定された値を格納しま す。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.winrm.version]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.winrm.version
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WinRM(バージョン)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	2.0

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.winrm.port]



### Section 12 Hinemosマネージャの設定一覧

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.winrm.port
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WinRM(ポート番号)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	5985

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.winrm.protocol]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.winrm.protocol
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WinRM(プロトコル)に このパラメータで指定された値を格納します。 (v er5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	http

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.winrm.timeout]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.winrm.timeout
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WinRM(タイムアウト)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	5000

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.winrm.retries]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.winrm.retries
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、WinRM(試行回数)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver 5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	3

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ssh.user]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ssh.user
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SSH(ユーザ名)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0. c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	root

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ssh.userpassword]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ssh.userpassword
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SSH(ユーザパスワード)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列



デフォルト値

パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ssh.privkey.path]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ssh.privkey.path
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SSH(SSH秘密鍵ファイルパス)に このパラメータで指定された値を格納し ます。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ssh.privkey.passphase]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ssh.privkey.passphase
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SSH(SSH秘密鍵パスフレーズ)に このパラメータで指定された値を格納し ます。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ssh.port]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ssh.port
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SSH(ポート番号)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver 5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	22

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.ssh.timeout]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.ssh.timeout
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、SSH(タイムアウト)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ve r5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	50000

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.node.variablename]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.node.variablename
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、ノード変数(ノード変数名)に このパラメータで指定された値を格納しま す。 半角カンマ区切りで、複数のノード変数名を指定可能です。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.node.variablevalue]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.node.variablevalue
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値

説明	自動検知でノードに反映する場合、ノード変数(ノード変数値)に このパラメータで指定された値を格納しま す。 hinemos.cloud.node.property.node.variablenameの設定値に合わせて、 半角カンマ区切りで複数のノー ド変数値を指定可能です。 (ver5.0.c以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.administrator]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.administrator
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、保守(管理者)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c 以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.contact]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.contact
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値
説明	自動検知でノードに反映する場合、保守(連絡先)に このパラメータで指定された値を格納します。 (ver5.0.c 以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.platformfamily.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.platformfamily.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 プラットフォームを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降で 有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.subplatformfamily.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.subplatformfamily.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 サブプラットフォームを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以 降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.nodename.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.nodename.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 ノード名を更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.cloud.service.update]

### Section 12 Hinemosマネージャの設定一覧



プロパティ	hinemos.cloud.node.property.cloud.service.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 クラウドサービスを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降で 有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.cloud.scope.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.cloud.scope.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 クラウドスコープを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降で 有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.cloud.resourcename.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.cloud.resourcename.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 クラウドリソース名を更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降 で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.cloud.resourcetype.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.cloud.resourcetype.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 クラウドリソースタイプを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d 以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.cloud.resourceid.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.cloud.resourceid.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 クラウドリソースIDを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降 で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

#### パラメータ[hinemos.cloud.node.property.cloud.location.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.cloud.location.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 クラウドロケーションを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以 降で有効)
データ型	文字列

パラメータ[hinemos.cloud.node.property.cloud.ipaddress.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.cloud.ipaddress.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 IPアドレスを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降で有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.nic.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.nic.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 デバイス(NIC情報)を更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降で 有効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

## パラメータ[hinemos.cloud.node.property.cloud.validflag.update]

プロパティ	hinemos.cloud.node.property.nic.update
プロパティ名	自動検知されるノードの属性値の更新フラグ
説明	自動検知でノードに反映する場合、 管理対象フラグを更新するかどうかを指定します。 (ver5.0.d以降で有 効)
データ型	文字列
デフォルト値	on

### パラメータ[hinemos.cloud.azure.client.config.proxyHost]

プロパティ	hinemos.cloud.azure.client.config.proxyHost
プロパティ名	Azure接続パラメータ(proxyHost)
説明	Hinemos マネージャからAzure APIへの接続時パラメータです。 HTTP Proxyを経由して接続する場合の Pr oxyサーバのIPアドレス/ホスト名を設定します。
データ型	文字列
デフォルト値	null(Proxyサーバを経由しない)

## パラメータ[hinemos.cloud.azure.client.config.proxyPassword]

プロパティ	hinemos.cloud.azure.client.config.proxyPassword
プロパティ名	Azure接続パラメータ(proxyPassword)
説明	Hinemos マネージャからAzure APIへの接続時パラメータです。 HTTP Proxyを経由して接続する場合の Pr oxyサーバのユーザーパスワードを設定します。
データ型	文字列
デフォルト値	null(Proxyサーバを経由しない)

## パラメータ[hinemos.cloud.azure.client.config.proxyPort]

プロパティ	hinemos.cloud.azure.client.config.proxyPort
プロパティ名	Azure接続パラメータ(proxyPort)



説明	Hinemos マネージャからAzure APIへの接続時パラメータです。 HTTP Proxyを経由して接続する場合の Pr oxyサーバのポート番号を設定します。
データ型	文字列
デフォルト値	-1(Proxyサーバを経由しない)

#### パラメータ[hinemos.cloud.azure.client.config.proxyUsername]

プロパティ	hinemos.cloud.azure.client.config.proxyUsername		
プロパティ名	Azure接続パラメータ(proxyUsername)		
説明	Hinemos マネージャからAzure APIへの接続時パラメータです。 HTTP Proxyを経由して接続する場合の Pr oxyサーバのユーザー名を設定します。		
データ型	文字列		
デフォルト値	null(Proxyサーバを経由しない)		

## パラメータ[hinemos.cloud.azure.client.config.connectionTimeout]

プロパティ	hinemos.cloud.azure.client.config.connectionTimeout		
プロパティ名	Azureパラメータ(connectionTimeout)		
説明	Hinemos マネージャからAzure APIへの接続時パラメータです。 コネクションタイムアウト値を設定します。		
データ型	文字列		
デフォルト値	90000		

## パラメータ[hinemos.cloud.azure.client.config.readTimeout]

プロパティ	hinemos.cloud.azure.client.config.readTimeout		
プロパティ名	Azure接続パラメータ(readTimeout)		
説明	Hinemos マネージャからAzure APIへの接続時パラメータです。 ソケットタイムアウト値を設定します。		
データ型	文字列		
デフォルト値	90000		

# 13 Hinemosエージェントの設定一覧

## パラメータ[ManagerAddress]

プロパティ	ManagerAddress		
プロパティ名	マネージャーアドレス		
説明	本パラメータはエージェントからの接続先を指定します。 通常のIPアドレス指定の記述 http://xxx.xxx.xxx:8080/HinemosWS/ とすることで、エージェントはそのIPアドレスのマネージャに接続します。 接続先のマネージャが不定の場合、 http://\${ManagerIP}:8080/HinemosWS/ と設定すると、マネージャーからのエージェント検出待ち状態となります。マネージャから発見されると、 本設定項目は自動的に マネージャのIPアドレス (マネージャ側設定の [agent.connection.ipaddres] で指 定された値) に書き換わります。		
データ型	文字列		
デフォルト値	-		



## 14 変更履歴

変更履歴

版	変更日	変更内容
第2版	2015/09/30	初版発行(他のプラットフォームに併せて第2版を初版とする)
第3版	2015/11/27	v5.0.cにおけるHinemosプロパティの拡張内容を反映
第4版	2016/2/15	v5.0.dにおけるHinemosプロパティの拡張内容を反映

Hinemosクラウド仮想化オプション ver5.0 for Microsoft Azure (コミュニティ版)

非売品

- 禁無断複製

- 禁無断転載
- 禁無断再配布

Hinemosは(株)NTTデータの登録商標です。 その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。 なお、本文中にはTM、Rマークは表記しておりません。